

「達人シリーズ」基本操作研修会

2019年7月～8月

INDEX

1. 達人シリーズの基本操作と運用方法
 1. アカウント管理
 2. インストール
 3. データベース
 4. データ選択
 5. 繰越
 6. インポート・エクスポート
 7. バックアップ
 8. データ管理
 9. オンラインヘルプ
 10. 情報コミュニティ
 11. 「達人シリーズ」基本操作
2. 会計ソフトから達人シリーズへのデータ連動
 1. 決算書の作成
 2. 勘定科目内訳明細書の作成
 3. 法人事業概況説明書の作成
 4. 消費税申告書の作成
3. その他
 - (1) 達人Cube「クラウドAP仮想化サーバー」(新商品)
 - (2) 達人Cube「クラウドデスクトップ」
 - (3) 達人Cube「クラウドストレージ」

※本資料で使用しているシステム画面は開発中のものです。そのため、実際の製品画面と異なる場合があります。

1. 達人シリーズの基本操作と運用方法

達人Cubeとは

達人Cubeでは、業務ソフトのアップデートやセキュリティ対策をはじめ、達人シリーズをより安全・便利にお使いいただく機能を提供しています。



1. アカウント管理

アカウント管理では、契約情報、利用者一覧、ログインセキュリティ、機能の利用制限などの各種設定をおこなうことができます。

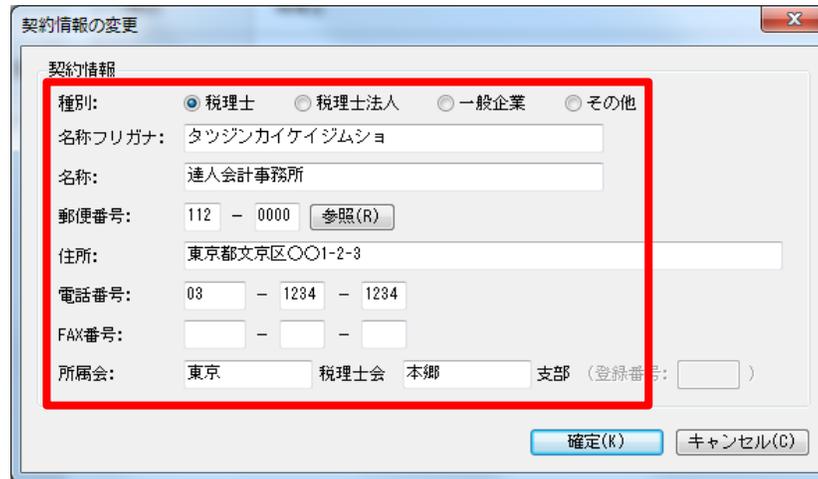
1. 契約情報

契約情報の種別を「税理士」「税理士法人」で登録することにより、税務代理権限証書やアカウントの利用者情報の詳細情報で登録した情報を参照して取り込むことができます。

【アカウント管理画面】



【契約情報の変更画面】

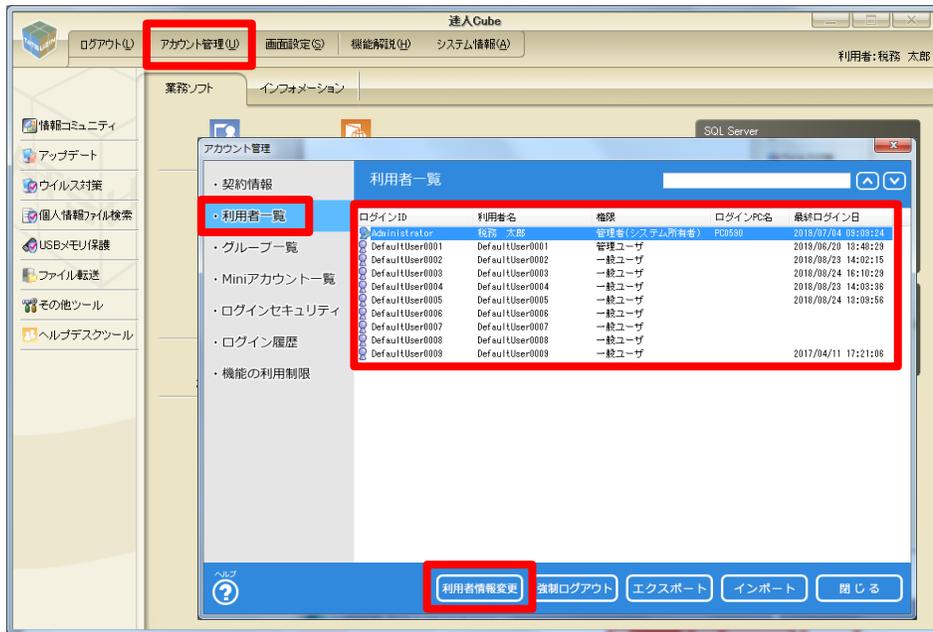


1. アカウント管理

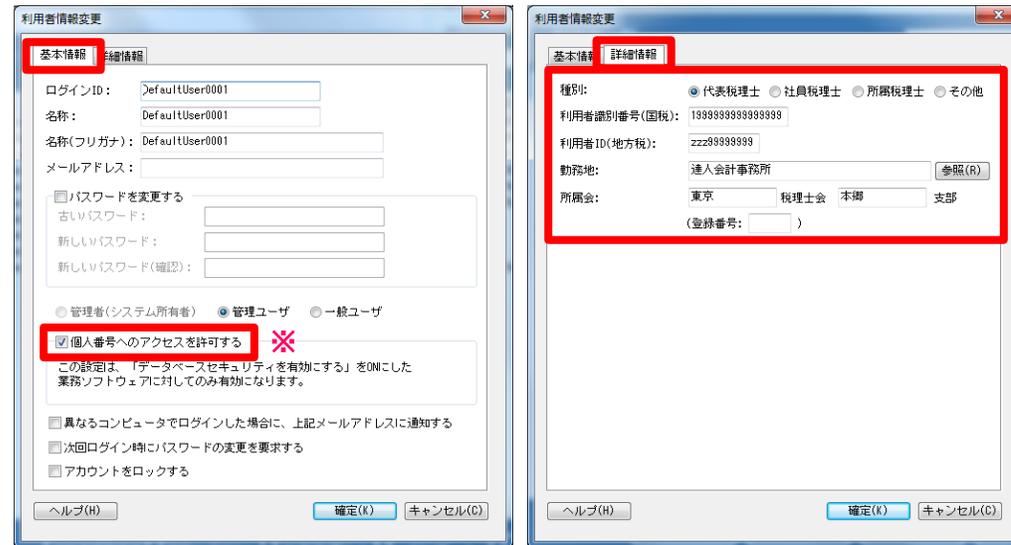
2. 利用者一覧

アカウントごとに利用者の権限や詳細情報を設定できます。

【利用者一覧画面】



【利用者情報変更画面】



※「個人番号へのアクセスを許可する」にチェックを入れることで、個人番号へのアクセス（閲覧）権限が付与されます。

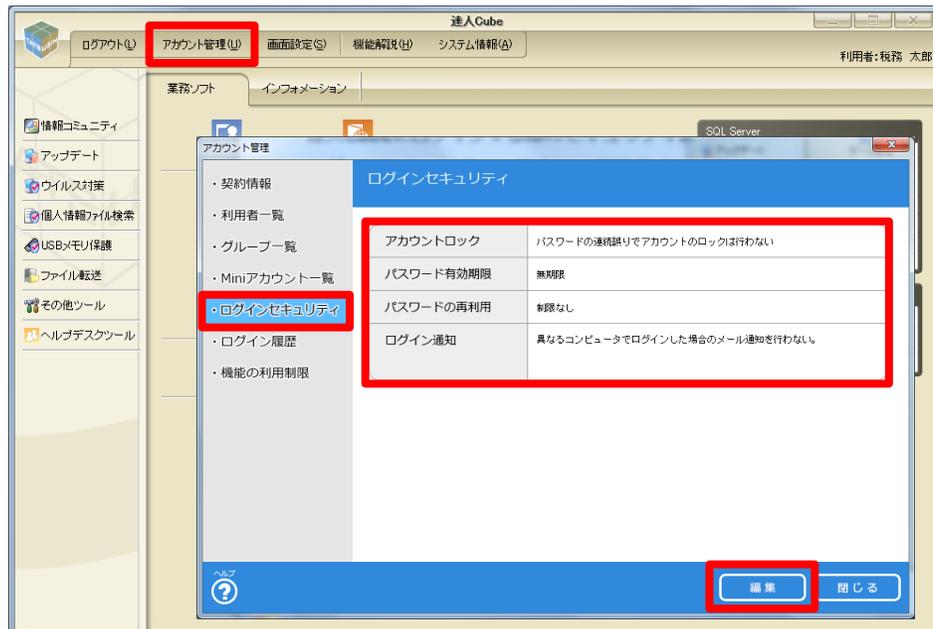
デフォルトでは外れていますので、個人番号へのアクセス権限を与える場合には、必ずチェックを入れてください。

1. アカウント管理

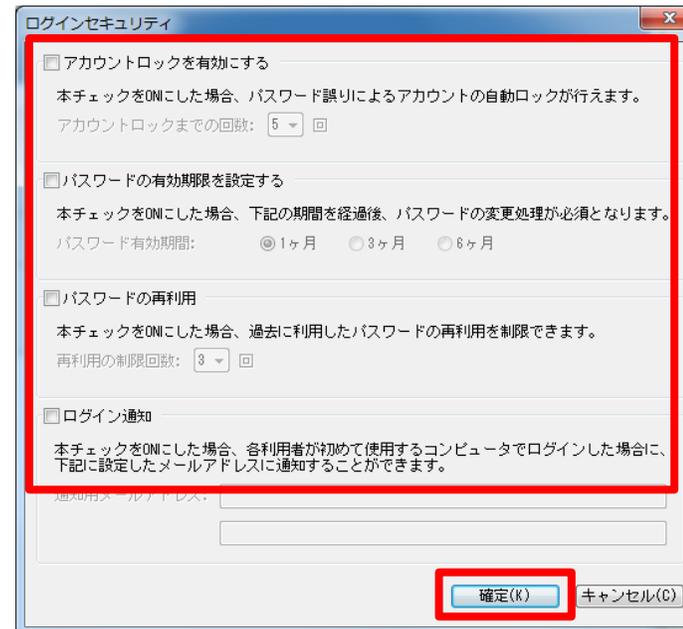
3. ログインセキュリティ

- ・達人Cubeにログインする際のセキュリティ設定を行います。
- ・ログインセキュリティの設定は、管理者（システム所有者）のみが行えます。

【ログインセキュリティ画面】



【ログインセキュリティ設定画面】

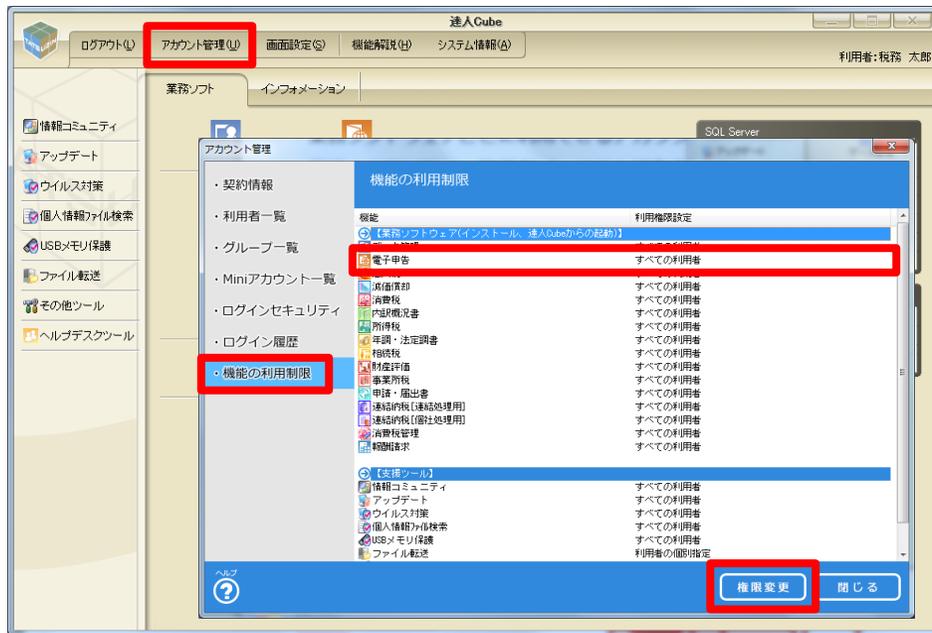


1. アカウント管理

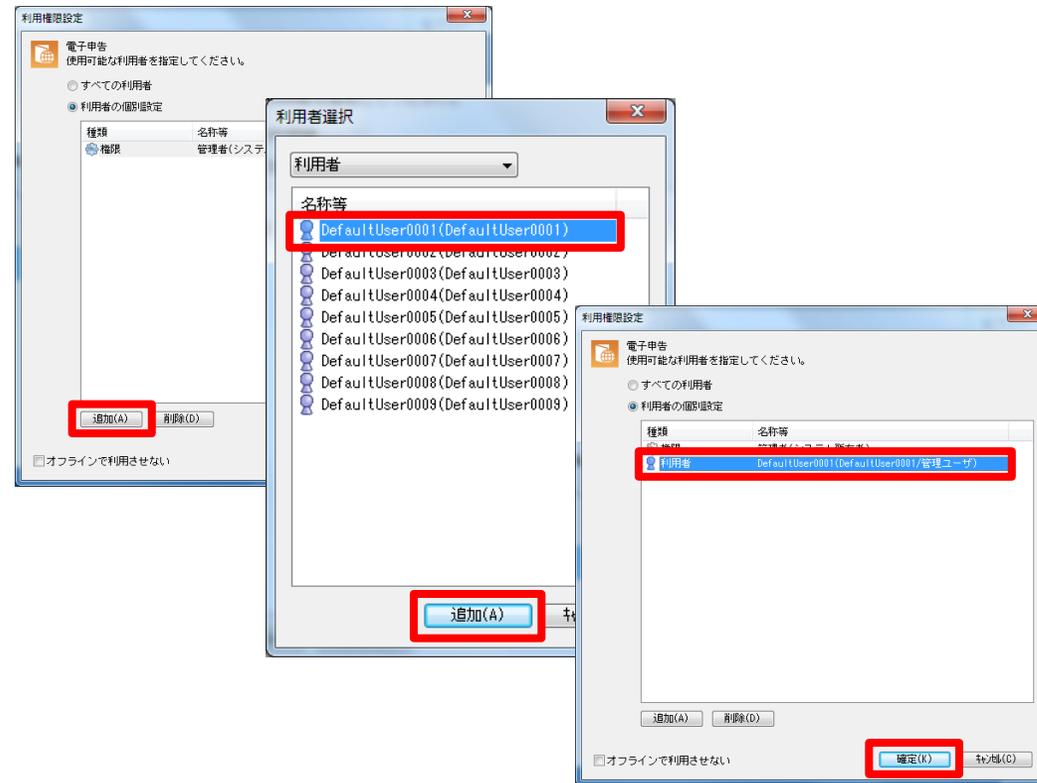
4. 機能の利用制限

- ・業務ソフトウェアごとに利用できるアカウントを設定できます。
- ・機能の利用制限は、管理者（システム所有者）のみが行えます。

【機能の利用制限画面】



【利用情報設定画面】



2. インストール

1. 達人Cube「アップデート」

達人Cube「アップデート」には、プログラムのインストールのほか、以下の機能があります。

- ・プログラムのリリース情報
- ・プログラムの更新通知
- ・サーバキャッシュの設定

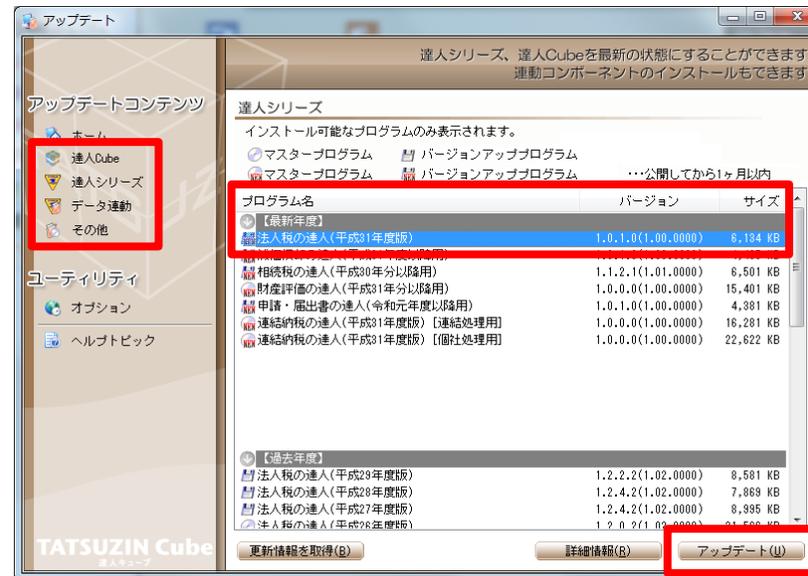


2. インストール

1. 達人Cube「アップデート」 (アップデートコンテンツ)

アップデートコンテンツでは、達人Cubeをはじめ、様々なプログラムのインストールができます。

- ・ 達人Cube : 達人Cubeの最新プログラム
- ・ 達人シリーズ : 達人シリーズの最新版のプログラムや過年度修正に利用する過年度版プログラム
- ・ データ連動 : データ連動のプログラム
- ・ その他 : SQL Server、SQL追加セットアップなど



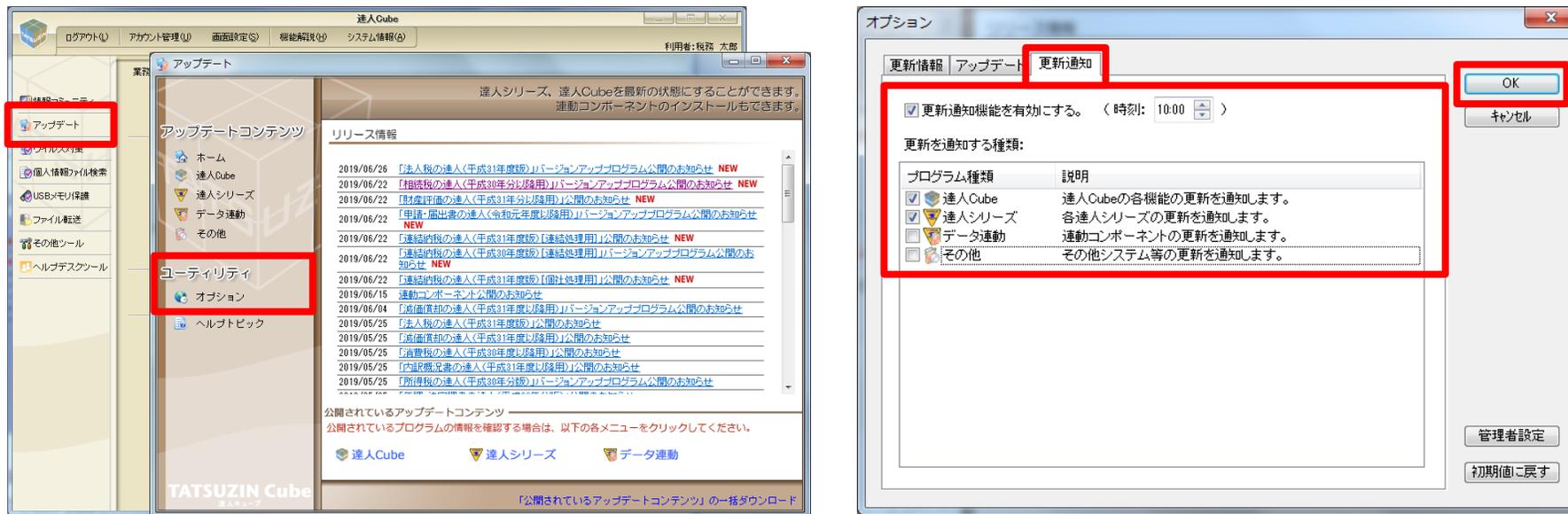
2. インストール

1. 達人Cube「アップデート」 (ユーティリティ)

ユーティリティでは、プログラムの更新通知やサーバキャッシュの設定ができます。

- プログラムの更新通知

新しいプログラムが「アップデート」に公開された際、PC画面の右下に更新通知のポップアップ画面が表示されます。



※クライアントPCごとに設定が必要です。

2. インストール

1. 達人Cube「アップデート」 (ユーティリティ)

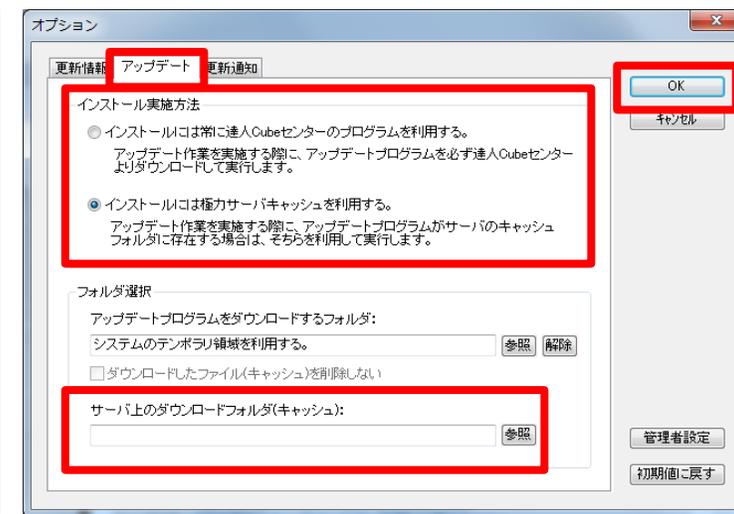
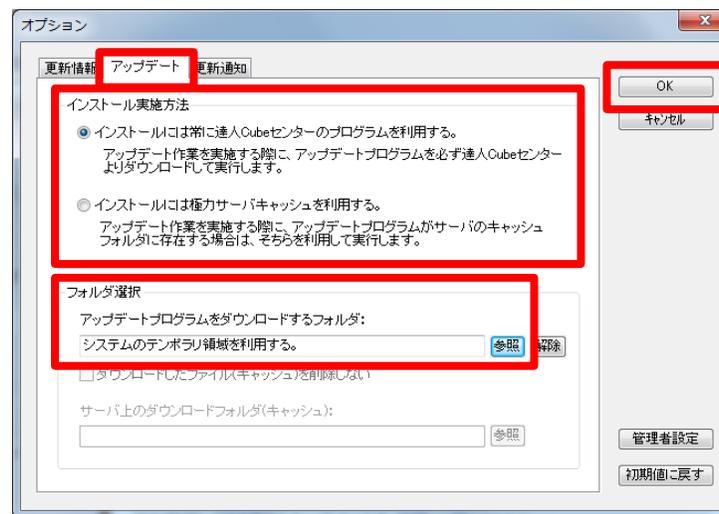
・サーバキャッシュの設定

ネットワークの負荷を軽減するため、サーバの指定した場所にアップデートプログラムを保存する機能です。

キャッシュ機能を利用することで、達人Cubeセンターが混みあっている場合でもスムーズにインストールができます。

【サーバ側の設定画面】

【クライアント側の設定画面】



※サーバ側：アップデートプログラムを保存するフォルダを作成し、「アップデートプログラムをダウンロードするフォルダ」で指定します。

※クライアント側：「インストール実施方法」と「サーバ上のダウンロードフォルダ」の設定をします。(全てのPCに設定が必要です。)

2. インストール

2. 主な税目の年間リリースタイミング

税目	リリース時期
法人税の達人	5月下旬、10月中旬～下旬
減価償却の達人	5月下旬
消費税の達人	5月下旬
内訳概況書の達人	5月下旬
所得税の達人	1月中旬～下旬
年調・法定調書の達人	11月中旬～下旬
相続税の達人	9月中旬
財産評価の達人	9月中旬
事業所税の達人	5月下旬
連結納税の達人	6月中旬、11月中旬
電子申告の達人	通年

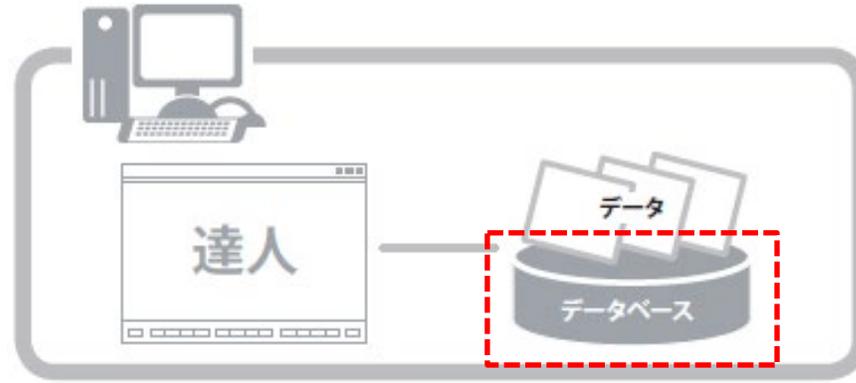
※税制改正などに合わせて、適宜、リリースを行います。

※消費税のリリース日は「2019年10月1日」を予定しています。

3. データベース

1. データベース

「達人シリーズ」の各プログラムは、作成したデータを全てデータベースで管理しています。（SQL Serverを利用）
データベースは「業務ソフトウェア」のプログラム、年度ごとに作成します。



【データベースについて】

- ・ 1台のコンピュータ（サーバ）に複数のデータベースを作成できます。
- ・ データベース間でデータの移動・複製（コピー）が可能

※2019年7月9日でSQL Server2008、SQL Server2008R2のサポートが終了しています。

新しいSQL Serverへの移行方法については、情報コミュニティの「お知らせ」をご確認ください。

※複数のPCで運用している場合、常にデータベースのバージョンを統一しておくことが必要です。

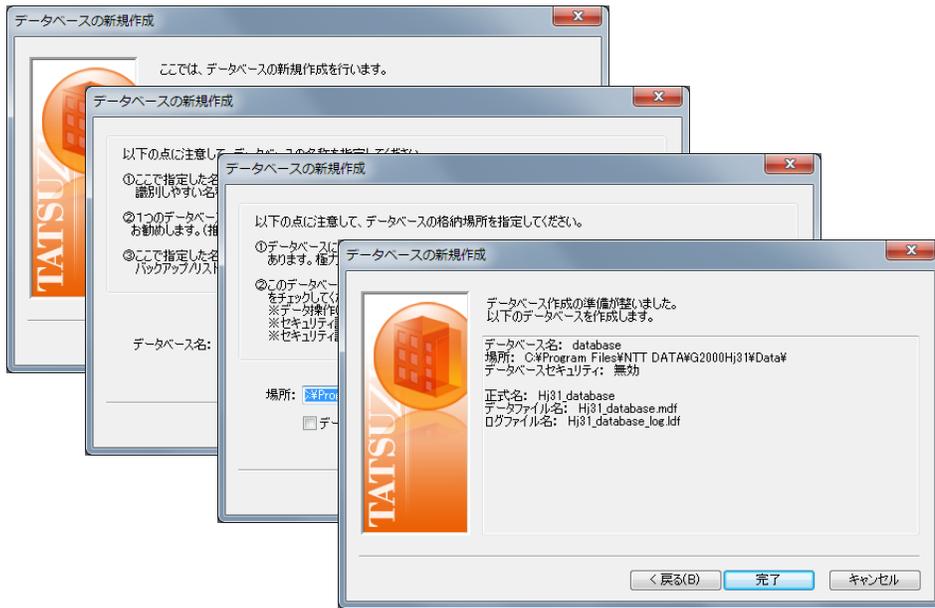
3. データベース

2. データベースの作成

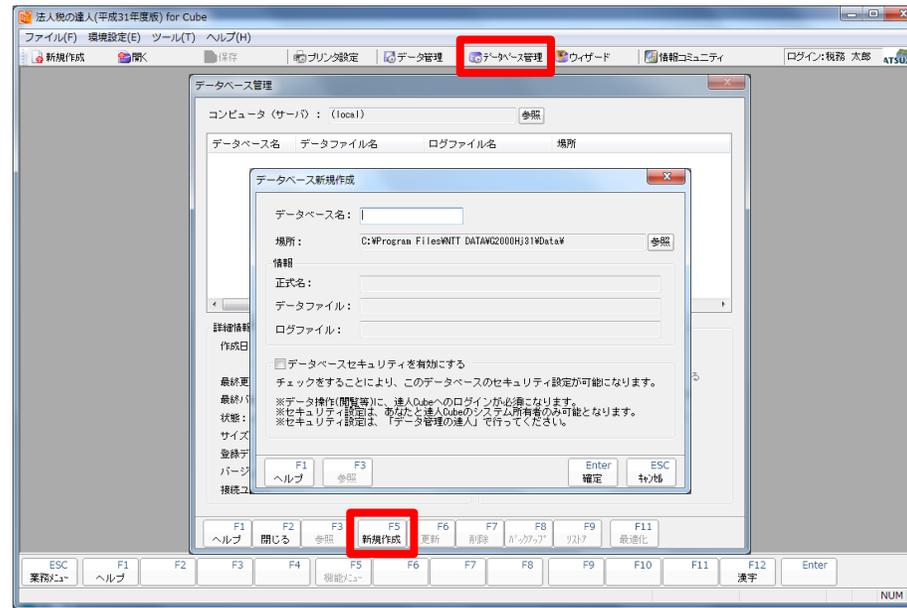
データベースを作成するには、次の2種類の方法があります。

- ・インストール後、初回起動時に表示されるウィザードからの作成
- ・データベース管理からの作成

【初回起動時のウィザード画面】



【データベース管理画面】



※データベースの名称には英数字（半角）のみ利用可能です。

※「Professional Edition」を利用している場合、サーバにのみデータベースを作成することでデータの一元管理ができます。

3. データベース

3. セキュリティ設定

データベース作成時に「データベースセキュリティを有効にする」にチェックを入れることで、マイナンバーを含む特定個人情報を適切に管理するため、データの暗号化、アクセスログの取得、アクセス者の制限を行うことができます。

【初回起動時のウィザード画面】

データベースの新規作成

以下の点に注意して、データベースの格納場所を指定してください。

①データベースに格納するデータ量によっては、データベースは100MB以上になる可能性があります。極力空き容量の多いドライブを指定してください。

②このデータベースにセキュリティ設定をしたい場合は、「データベースセキュリティを有効にする」をチェックしてください。
※データ操作(閲覧等)に、達人Cubeへのログインが必須になります。
※セキュリティ設定は、あなたと達人Cubeのシステム所有者のみ可能となります。
※セキュリティ設定は、「データ管理の達人」で行ってください。

場所: C:\Program Files\NTT DATA\G2000HJ31\Data# 参照

データベースセキュリティを有効にする

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

【データベース新規作成画面】

データベース新規作成

データベース名: []

場所: C:\Program Files\NTT DATA\G2000HJ31\Data# 参照

情報

正式名: []

データファイル: []

ログファイル: []

データベースセキュリティを有効にする
チェックをすることにより、このデータベースのセキュリティ設定が可能になります。

※データ操作(閲覧等)に、達人Cubeへのログインが必須になります。
※セキュリティ設定は、あなたと達人Cubeのシステム所有者のみ可能となります。
※セキュリティ設定は、「データ管理の達人」で行ってください。

F1 ヘルプ F3 参照 Enter 確定 ESC キャンセル

※データベース作成後、「データベース管理」画面からも設定を有効にすることができます。

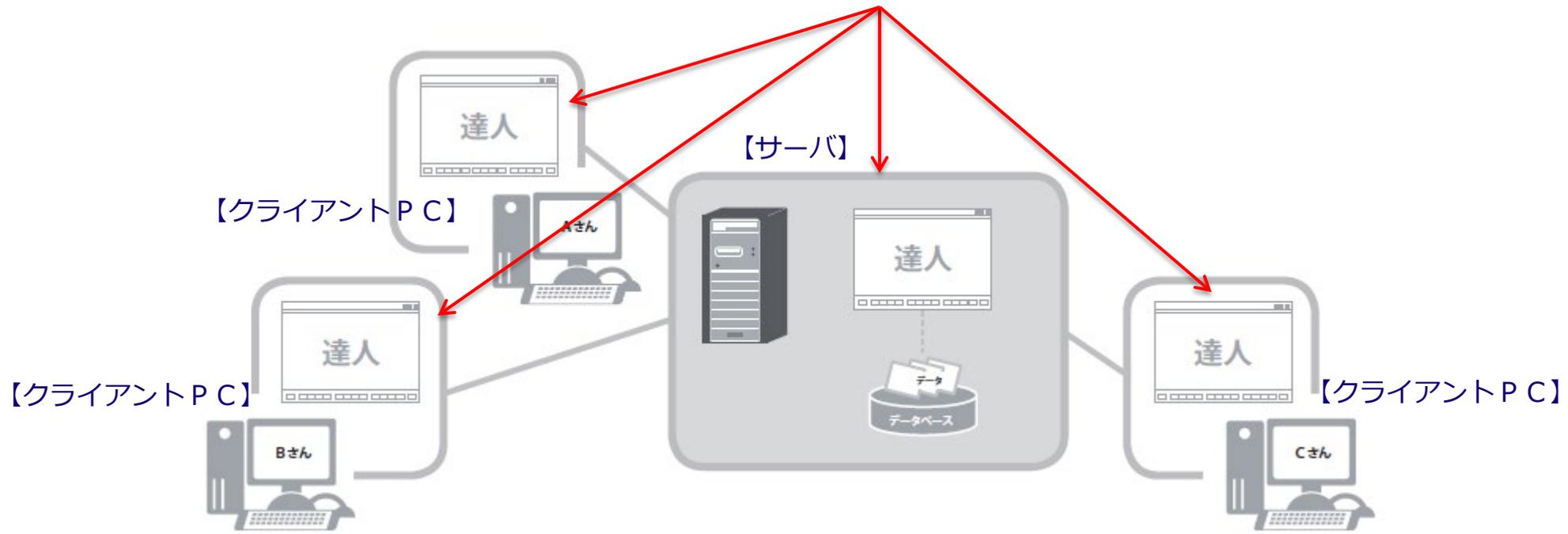
※データを操作するためには、達人Cubeのログインが必須になります。ログイン時に利用したアカウントによりアクセスログが取得され、操作できるデータをアカウントごとに制限することもできるようになります。

3. データベース

補足：達人シリーズを「Professional Edition」で運用する場合

達人シリーズを「Professional Edition」で運用する場合には、サーバおよび達人を利用するクライアントPCすべてに業務ソフトウェアとSQL Serverのインストールが必要となります。

サーバ、クライアントPCすべてに業務ソフトウェアとSQL Serverのインストールが必要です。

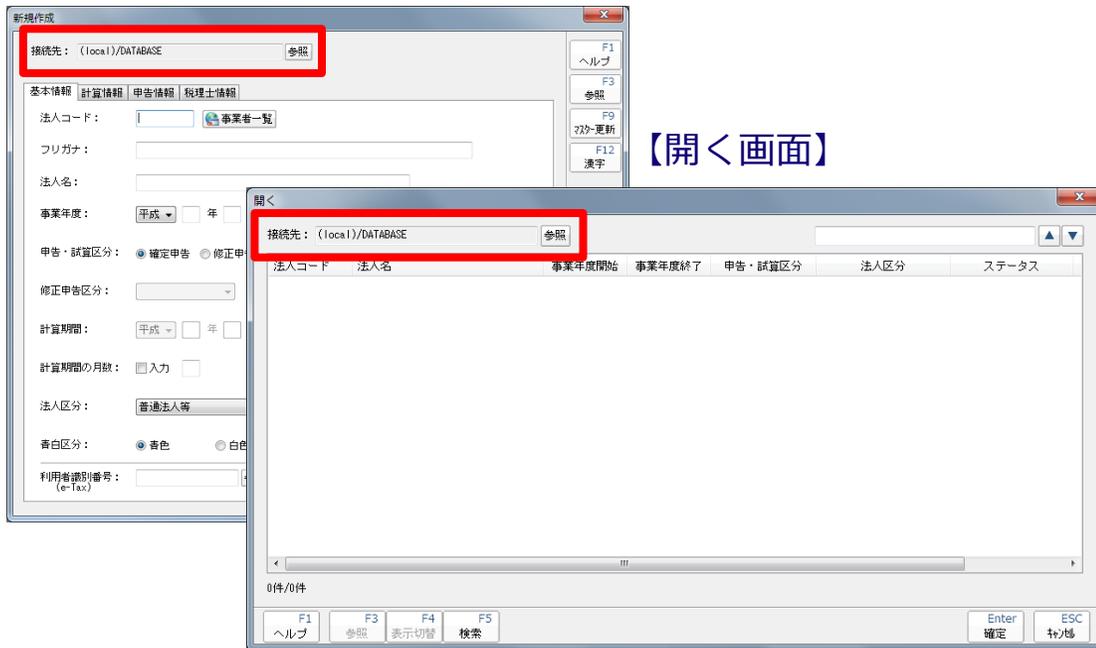


3. データベース

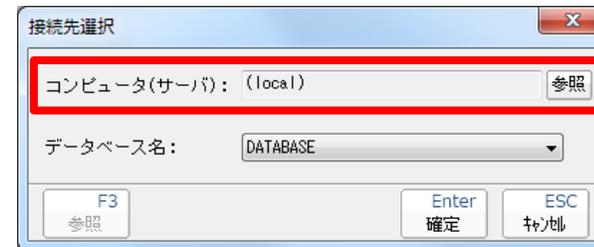
4. 接続先（データベース）の変更

新規作成データの保管先をサーバに指定する際やデータベースを切り替える際に、画面上部の「接続先：」で接続先を変更します。

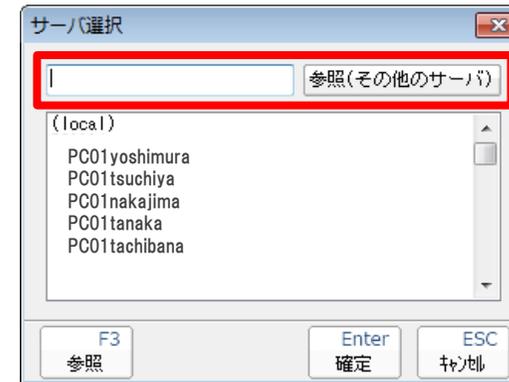
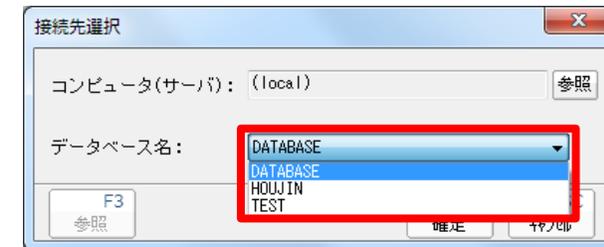
【新規作成画面】



【接続先選択画面（サーバ）】



【接続先選択画面（PC）】



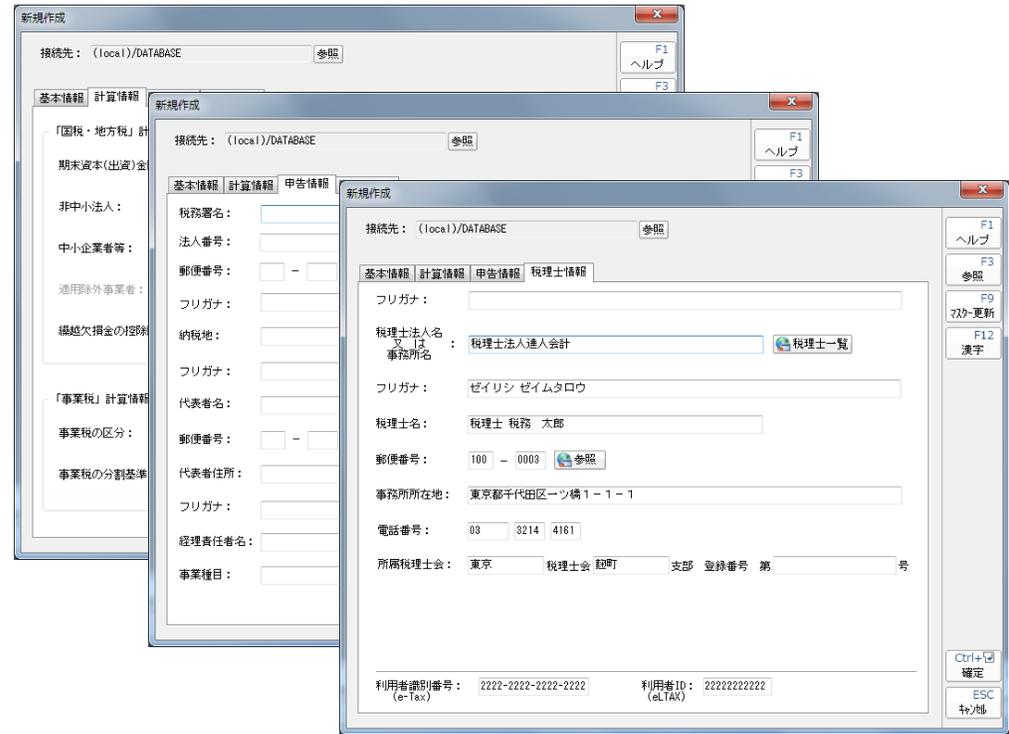
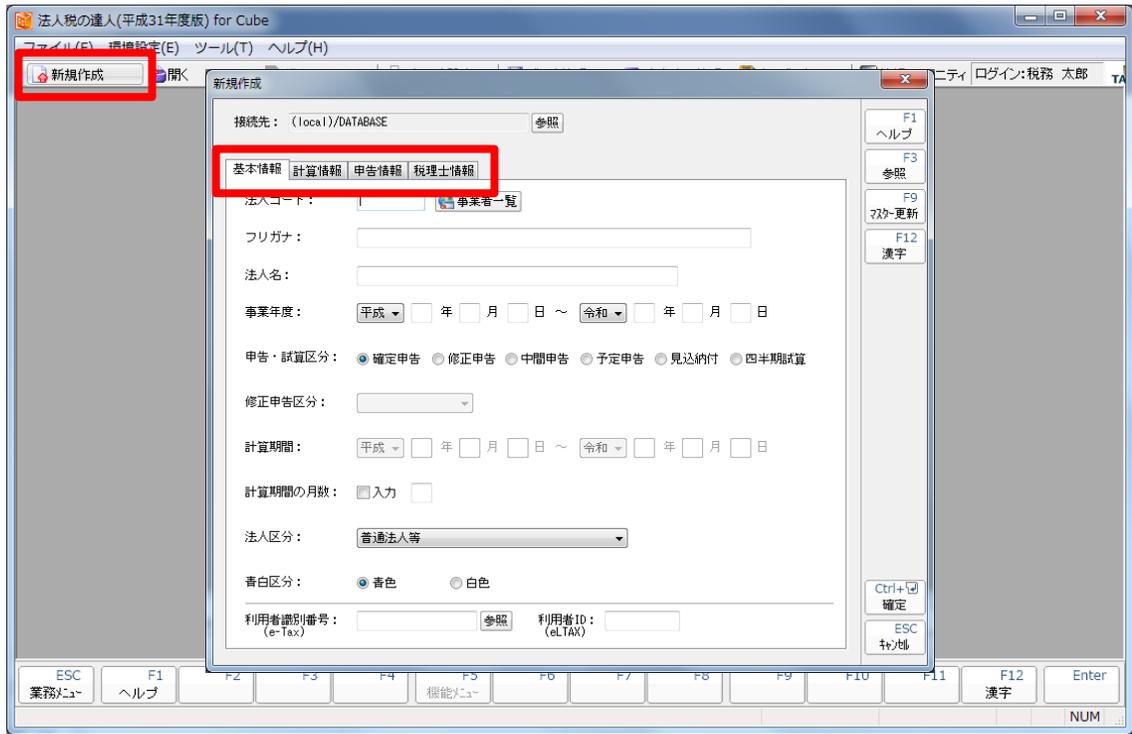
※一度設定した接続先は変更しない限り、次回ソフトウェア起動以降も引き継がれます。

※事前に接続したいサーバまたはPCのパソコン名称を確認してください。

4. データ選択

1. データの新規作成

業務ソフトウェアの「新規作成」をクリックし、必要項目を手入力します。



画面は法人税の達人

4. データ選択

1. データの新規作成（「データ管理の達人」を契約している場合）

業務ソフトウェアの「新規作成」をクリックし、「事業者一覧」ボタンから「事業者データベース」（データ管理の達人）の基本情報を反映後、必要な情報を追加入力します。

【事業者データ選択画面】

法人税の達人(平成31年度版) for Cube
ファイル(F) 環境設定(E) ツール(T) ヘルプ(H)
新規作成 開く 保存 プリント設定 データ管理 データベース管理 ウィザード 情報コミュニティ ログイン: 税務 太郎 TA

新規作成
接続先: (local)/DATABASE 参照
F1 ヘルプ
F3 参照
F9 マスター更新
Ctrl+Q 確定
ESC キャンセル

基本情報 計算情報 申告情報 税理士情報

法人コード: **事業者一覧** ※

フリガナ:

法人名:

事業年度: 平成 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

申告・試算区分: 確定申告 修正申告 中間申告 予定申告 見込納付 四半期試算

修正申告区分:

計算期間: 平成 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

計算期間の月数: 入力

法人区分: 普通法人等

青白区分: 青色 白色

利用者識別番号: 参照 (e-Tax) 利用者ID: (eL-TAX)

事業者一覧 11件/11件

法人税の達人(平成31年度版)

以下の事業者情報を取り込みます。よろしいですか？

項目名	設定値	項目名	設定値
法人税の達人		データ管理の達人	
基本情報			
法人コード		事業者コード	HOUJIN001
法人名フリガナ		事業者名フリガナ	カブシキガイシャ タツ...
法人名		事業者名	株式会社 連人
利用者識別番号		利用者識別番号(e-Tax)	2111-1111-1111-1111
利用者ID		利用者ID(eL-Tax)	aaa111111111
届出税務署		所轄税務署	粒町税務署
提出税務番号		郵便番号	100-0004
納税地フリガナ		所在地フリガナ	トウキョウトチヨダクオ...
納税地		所在地	東京都千代田区大手町1-1-3
納税地電話番号		電話番号	03-1111-1111
代表者名フリガナ		代表者氏名フリガナ	ホウジン タロウ
代表者名		代表者氏名	法人 太郎
役職名		役職名	代表取締役
代表者郵便番号		代表者郵便番号	227-0000
代表者住所		代表者所在地	神奈川県横浜市青葉区...
代表者電話番号		代表者電話番号	045-111-1111
経理責任者名フリガナ		経理責任者名フリガナ	ホウジン ハナコ
経理責任者名		経理責任者名	法人 花子
事業種目		事業内容	〇〇機械製造業
整理番号		整理番号	00000001

ESC 検索 F5
F9 選択
Enter 確定 ESC キャンセル

※「F9 マスター更新」：基本情報や申告情報で変更した内容をデータ管理の達人の「事業者情報」へ反映させる場合に使用します。

4. データ選択

1. データの新規作成

【税理士情報タブ】

新規作成

接続先: (local)/DATABASE 参照

基本情報 計算情報 申告情報 **税理士情報**

フリガナ: タツジンカイケイジムショ

税理士法人名
又は
事務所名: 達人会計事務所 **税理士一覧**

フリガナ: ゼイリシ ゼイム タロウ

税理士名: 税理士 税務 太郎

郵便番号: 100 - 0001 参照

事務所所在地: 東京都千代田区大手町1-1

電話番号: 03 2222 1111

所属税理士会: 東京 税理士会 麹町

利用者識別番号:
(e-Tax) 2111-1111-1111-1111

税理士一覧

税理士名	利用者識別番号(国税)	利用者ID(地方税)
Administrator(Administrator)		
税務 太郎(User0009)	2111111111111111	aaa99999999

税理士情報

税理士名 : 税務 太郎
所属会 : 東京税理士会 麹町支部(登録番号:11223)
利用者識別番号: 2111111111111111
利用者ID : aaa99999999

事務所名 : 達人税理士事務所
住所 : 100-0001 東京都千代田区大手町1-1
電話番号 : 03-2222-1111
FAX番号 : 03-2222-2222

Enter 確定 ESC キャンセル

・「税理士一覧」から達人Cube「アカウント管理」に登録した税理士情報を反映することができます。
→アカウントへの登録方法は、P5～6を参照

※2件目以降の新規作成時には、前回登録した情報が初期値として入力されます。

4. データ選択

補足. 「データ管理の達人」とは

【データ管理の達人メニュー画面】

① マスターデータ管理／個人番号収集

- ・ 顧問先事業者の基本情報、個人番号の情報といった「マスターデータ」を管理
- ・ NTTデータが管理する達人Cubeセンター内に保管
- ・ 顧問先事業者の従業員等の個人番号を収集する仕組みを保持

② 業務ソフトウェアのデータ管理

- ・ 会計事務所内「業務ソフトウェア」で作成したデータベースを統合的に管理
- ・ 「業務ソフトウェア」で作成した業務データを統合的に管理

③ セキュリティ管理

- ・ 達人Cubeセンターの「マスターデータ」、および会計事務所に保管する「業務ソフトウェア」データのセキュリティ設定を統合的に管理

④ その他

- ・ データベースのバックアップ管理

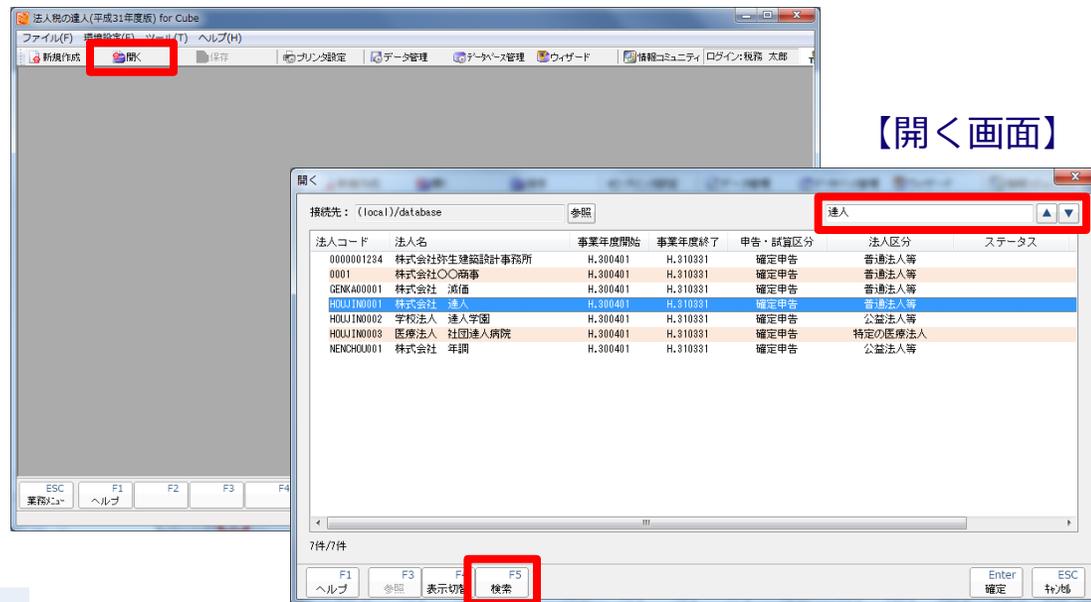
4. データ選択

2. データの選択

繰り返しデータを利用する場合及び作成途中のデータを呼び出す場合は、業務ソフトウェアの「開く」をクリックし、一覧から選択します。

【データ選択方法】

1. テンキーでコードを入力すると該当のコードのデータへカーソルがジャンプします。
2. 画面右上の「検索窓」に会社名等の一部を入力し、「▲▼」をクリックするとカーソルがジャンプします。
3. 「F5検索」ボタンで、選択したいデータを様々な条件で絞り込みます。



【「F5検索」画面】



画面は法人税の達人

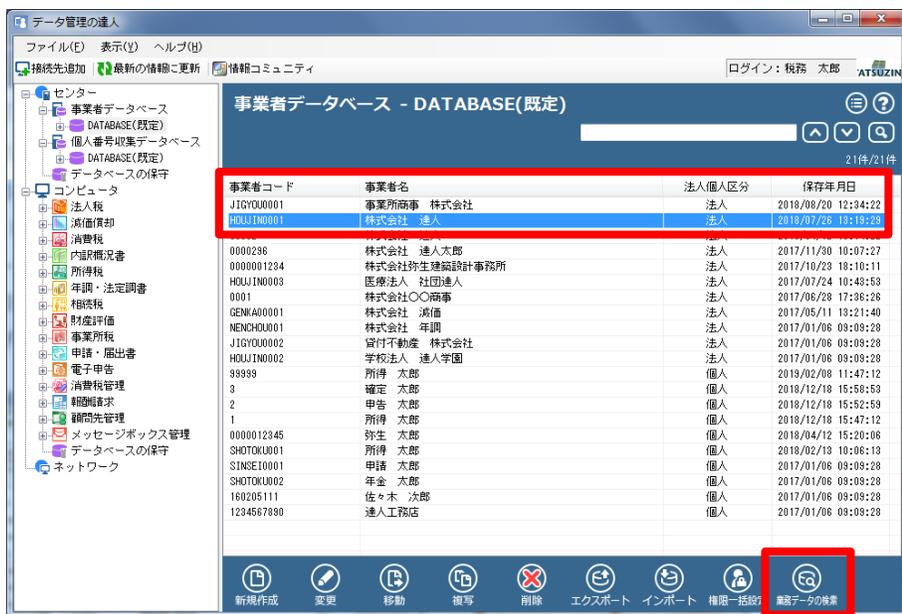
4. データ選択

3. 「データ管理の達人」の便利機能

①事業者データベースからのデータ選択

- ・事業者データベースの「業務データの検索」で、その事業者に対して作成している業務ソフトウェアデータの全てを、税目・年度を跨いで表示することができます。
- ・データを選択し、「業務データを開く」を押せば業務メニューが開きデータの入力ができます。
- ・「業務データの新規作成」で、事業者データベースに登録されている情報を引き継いで新規にデータを作成することができます。

【事業者データベース画面】



【業務データの検索画面】



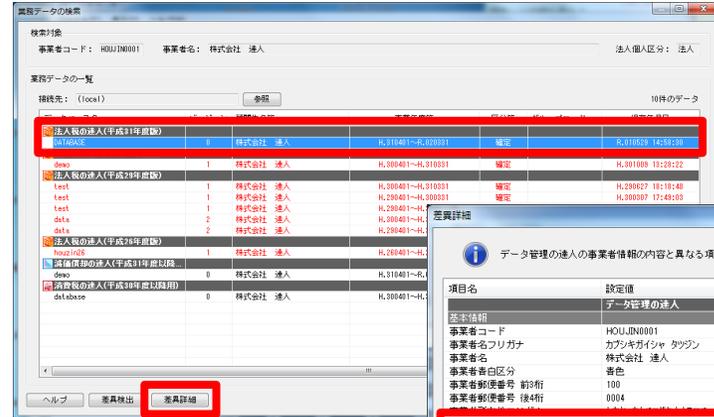
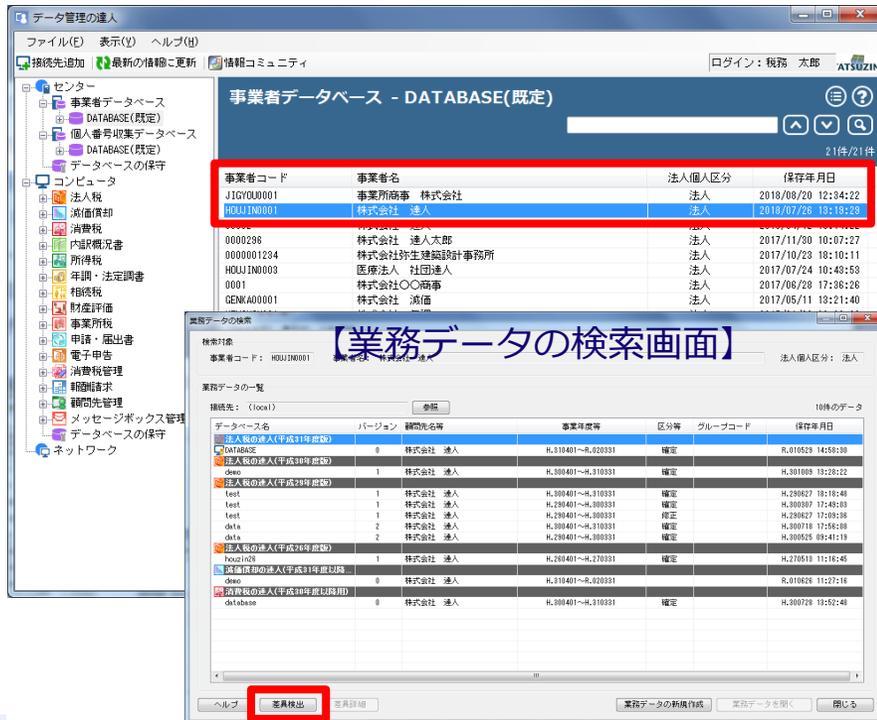
4. データ選択

②差異検出

- ・ 検索対象の「事業者情報」と差異のある業務ソフトウェアのデータ（基本情報）が検出できます。
- ・ 検出後、差異のあるデータは赤字で表示され、「差異詳細」で差異部分の詳細内容が確認できます。
- ・ 「業務データを開く」ボタンでデータを開くことで、基本情報の修正ができます。

【事業者データベース画面】

【業務データの検索画面】



【差異詳細画面】



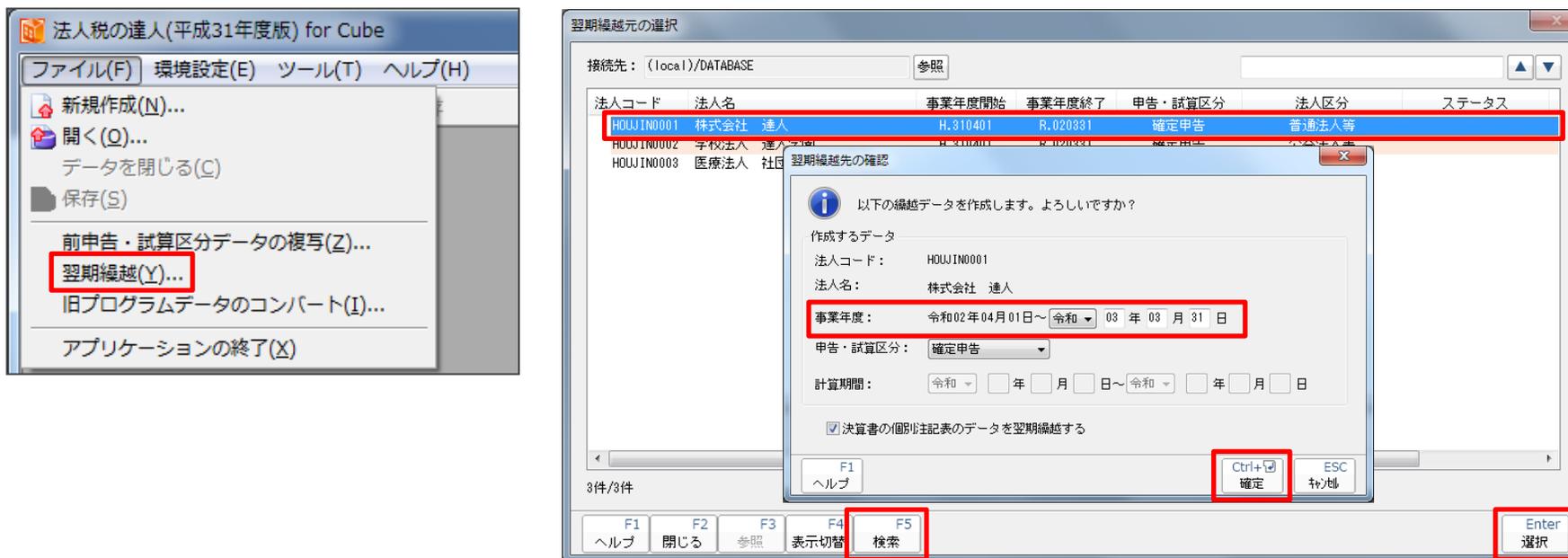
5. 繰越

1. 翌期繰越

① 翌期繰越

- ・ データ作成完了後、翌期繰越処理を行うことで、登録したデータをもとに次年度データが作成されます。
- ・ 翌期繰越先の確認画面で、事業年度が変わっていることを確認します。

【翌期繰越元の選択画面】



※ 「F5 検索」 ボタンで、データの絞り込みができます。

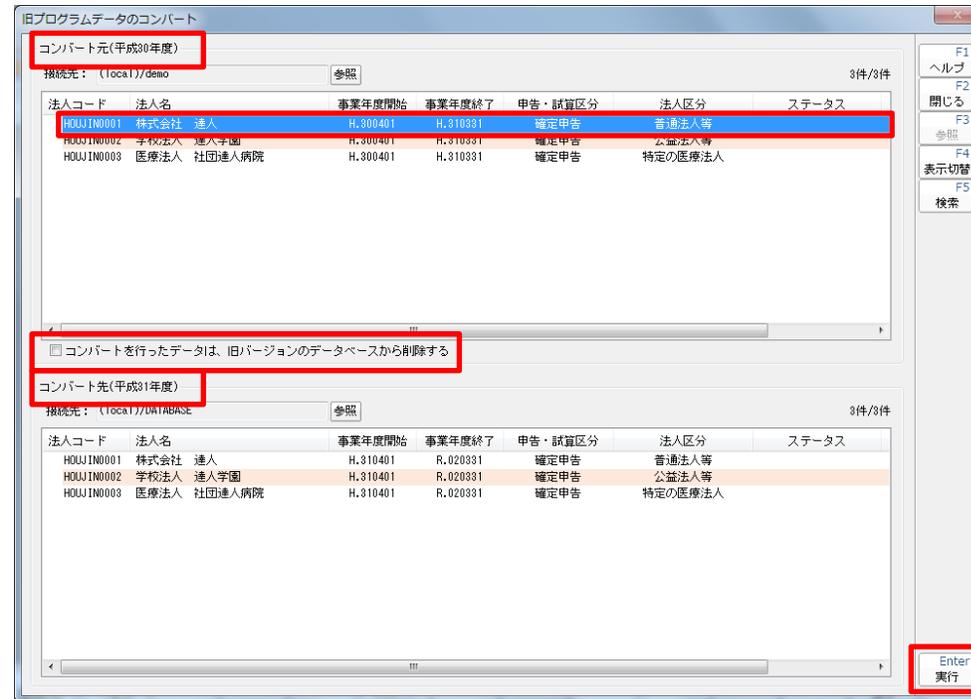
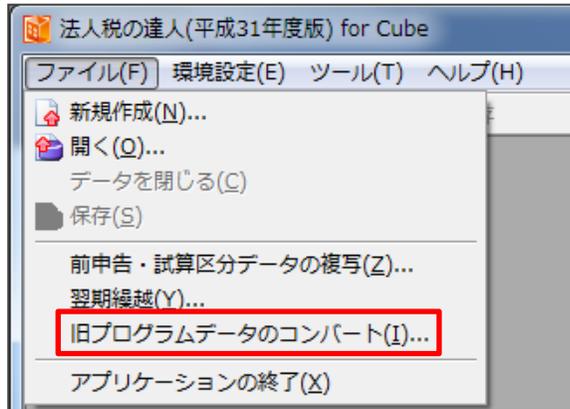
画面は法人税の達人

5. 繰越

②旧プログラムデータのコンバート

法人税の達人のように年度ごとにプログラムが分かれている場合、旧バージョン（前年度）のプログラムで繰越したデータを新バージョン（新年度）のプログラムへ取り込む必要があります。

【旧プログラムデータのコンバート画面】



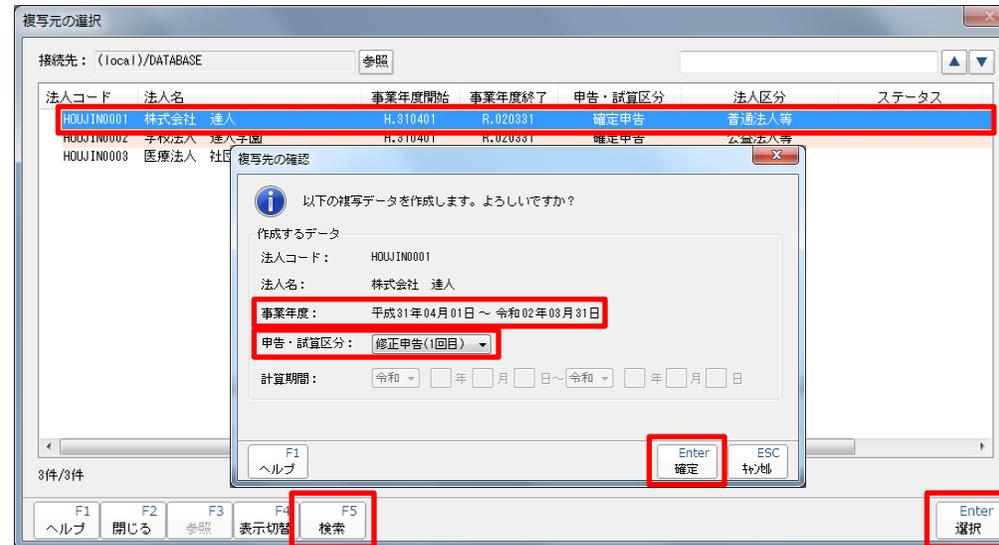
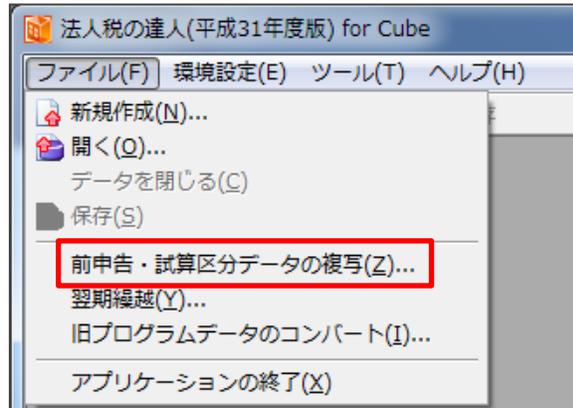
※ 「コンバートを行ったデータは、旧バージョンのデータベースから削除する」にチェックを入れコンバートを行うと、コンバート後に、旧バージョンのデータベースからコンバート元のデータが削除されます。

5. 繰越

2. 前申告・試算区分データの複写

- ・同一の顧問先（企業）で異なる申告・試算区分データ（確定 ⇒ 修正など）を作成したい場合に使用します。
- ・基本情報等のデータは複写先にそのまま引き継がれます。
- ・事業年度は変更しません。

【複写元の選択画面】



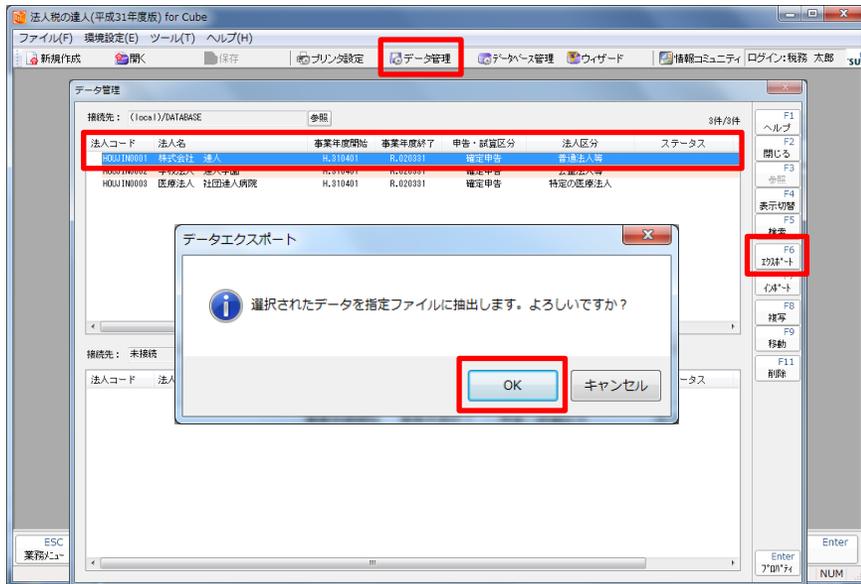
※ 「F5 検索」 ボタンで、データの絞り込みができます。

6. インポート・エクスポート

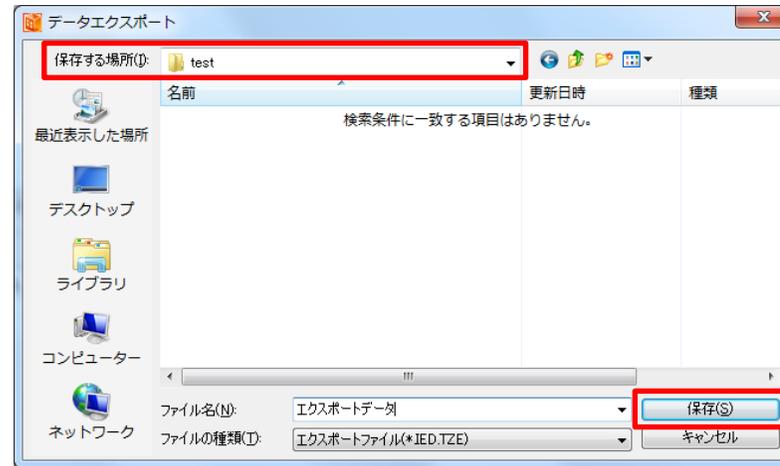
1. データのエクスポート

データベースに保存されているデータを、一時的にデータベース以外の場所（ノートPCや外部記録媒体（USB等））に移動してデータを持ち出したい場合に使用します。

【データ管理画面】



【データエクスポート画面】



※データベースに「データベースセキュリティを有効にする」のチェックが入っている場合、

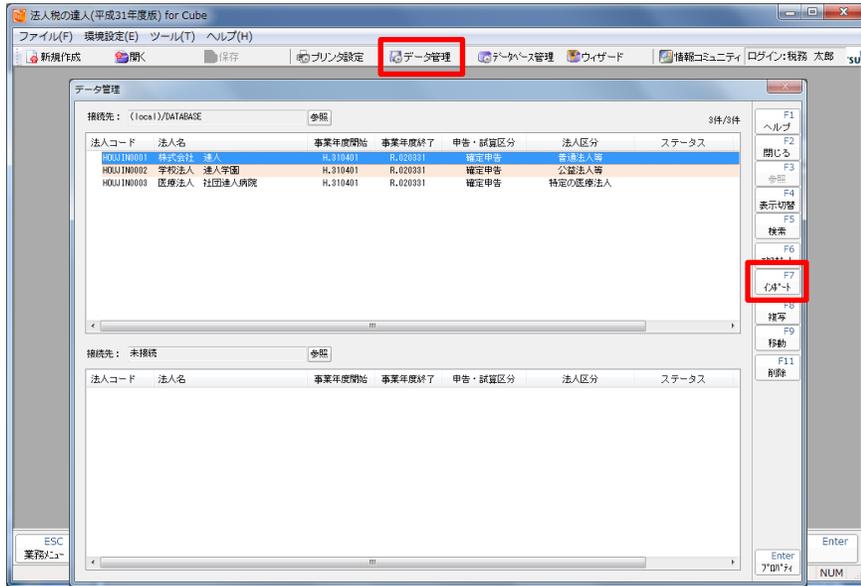
- ・エクスポートするデータにパスワードの設定が必須となります。
- ・マイナンバーが含まれているデータは、アカウント管理の利用者情報にある「個人番号へのアクセスを許可する」にチェックがされていないとエクスポートできません。

6. インポート・エクスポート

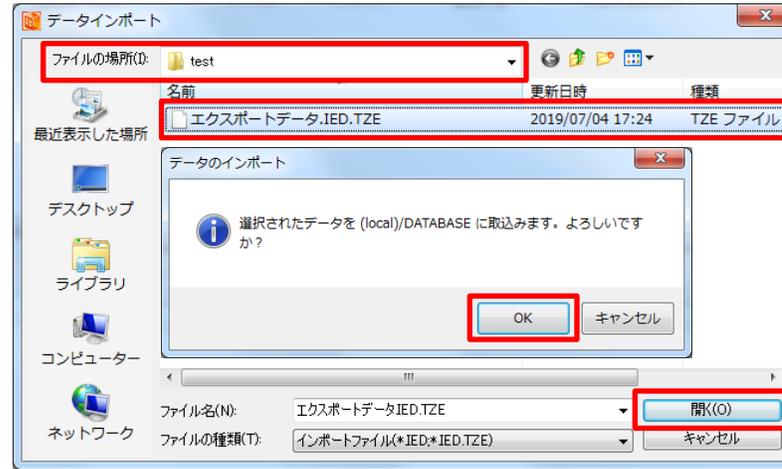
2. データのインポート

エクスポートしたデータを、別のPCのデータベースに取り込みたい場合に使用します。

【データ管理画面】



【データインポート画面】



※エクスポート側とインポート側のデータベースバージョンを統一しておく必要があります。

※データをバックアップするための機能ではありません。

※データベースに「データベースセキュリティを有効にする」のチェックが入っている場合、パスワードの入力が必要です。

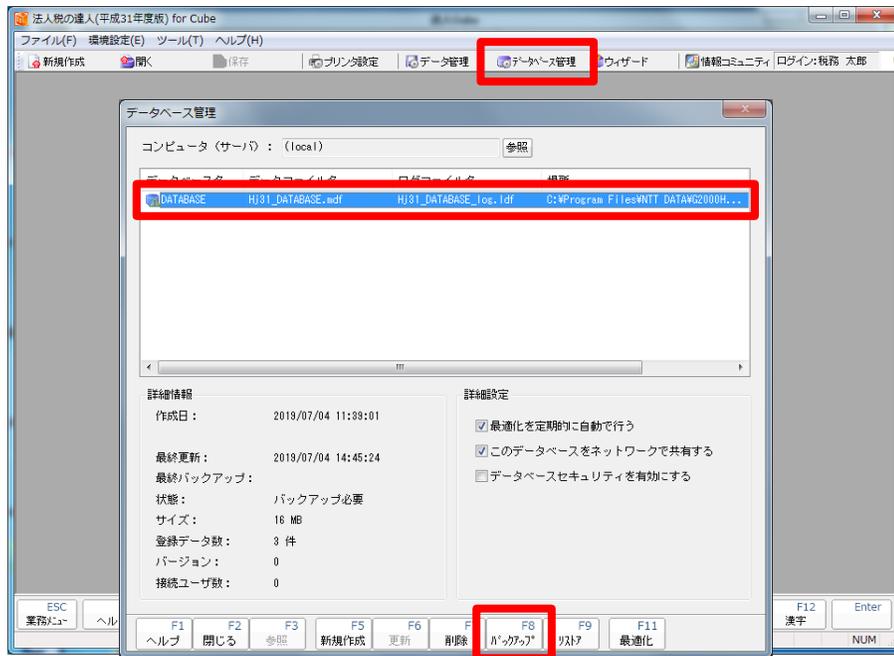
7. バックアップ

バックアップは、様々なリスク（人為的ミス、ハードウェア故障、ウィルス感染など）からデータを守るため、定期的におこなうことが必要です。

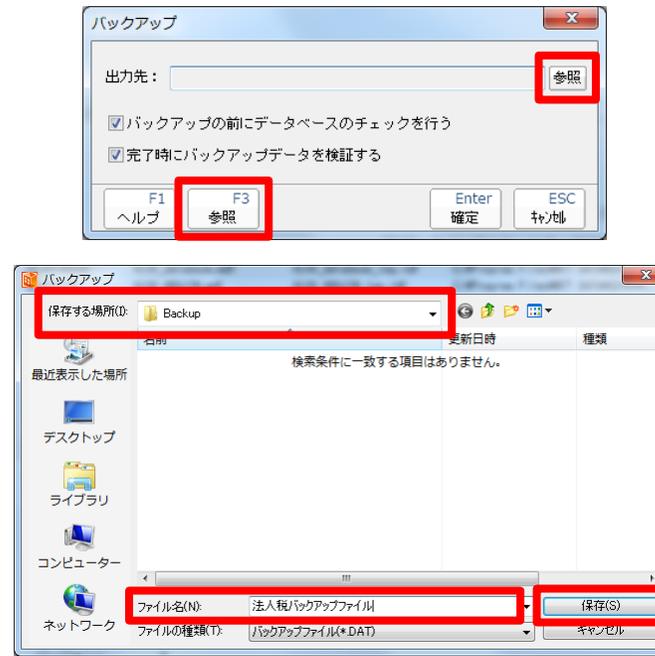
1. 手動バックアップ

業務ソフトウェアごとにデータベースを手動でバックアップします。

【データベース管理画面】



【バックアップ画面】

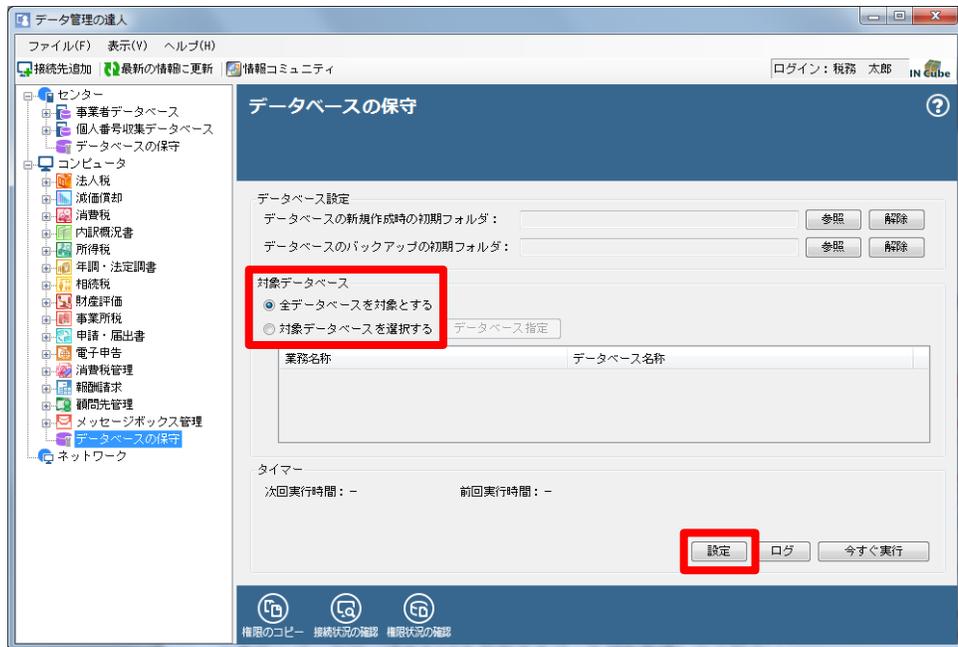


7. バックアップ

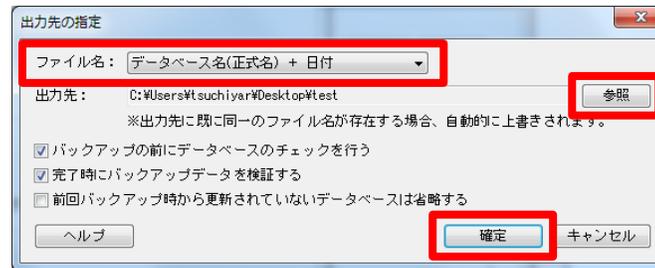
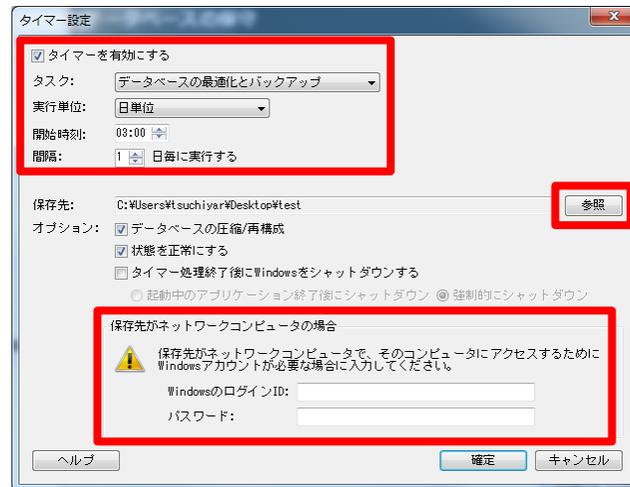
2. タイマーバックアップ（「データ管理の達人」の契約が必要です）

- ・タイマー設定により、様々な条件で自動バックアップすることができます。
- ・日次バックアップすることをお勧めします。

【データベースの保守画面】



【タイマー設定画面】



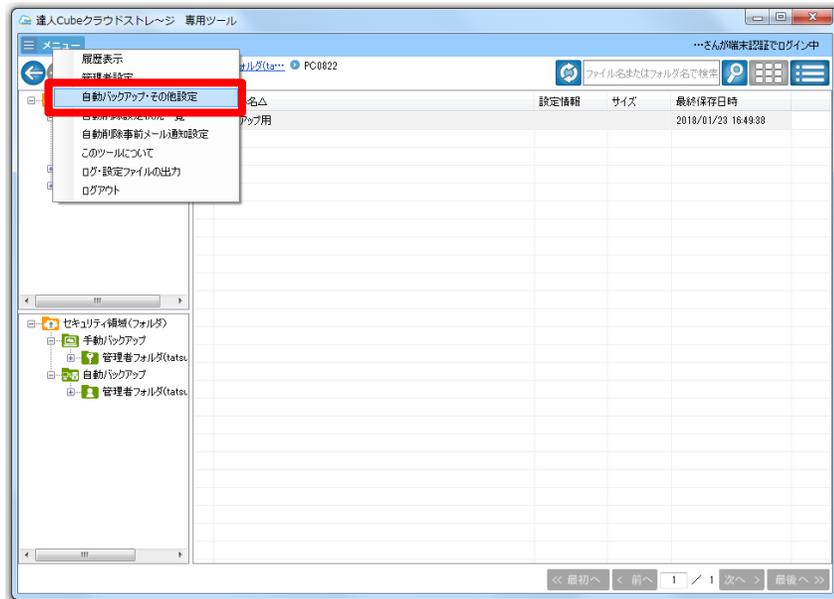
※設定後、バックアップがされていることを定期的を確認してください。

7. バックアップ

3. クラウドへのバックアップ（達人Cube「クラウドストレージ」の契約が必要です）

- ・ 事務所内のバックアップだけでは、災害やバックアップ機器などの故障によるデータベースの消失を避けることができません。そこで、外部へのバックアップが必要となります。
- ・ 達人Cube「クラウドストレージ」を利用することで、社内でバックアップしたデータをクラウドにも保存できます。

【初回起動画面】



【バックアップ設定画面】



※達人Cube「クラウドストレージ」のご契約が必要です。（500円／10GB（月額）～）

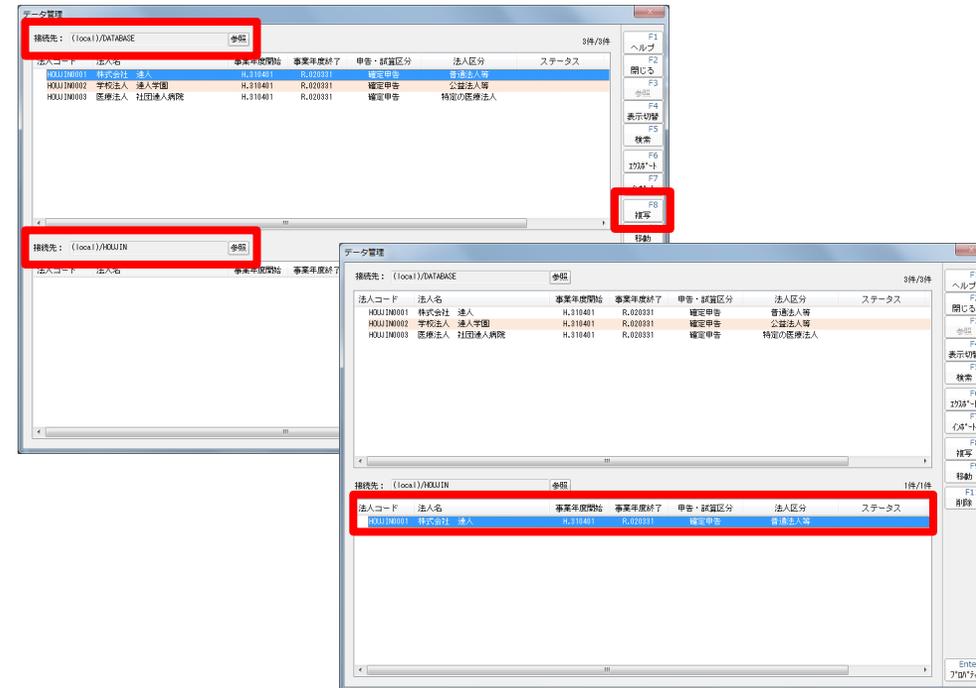
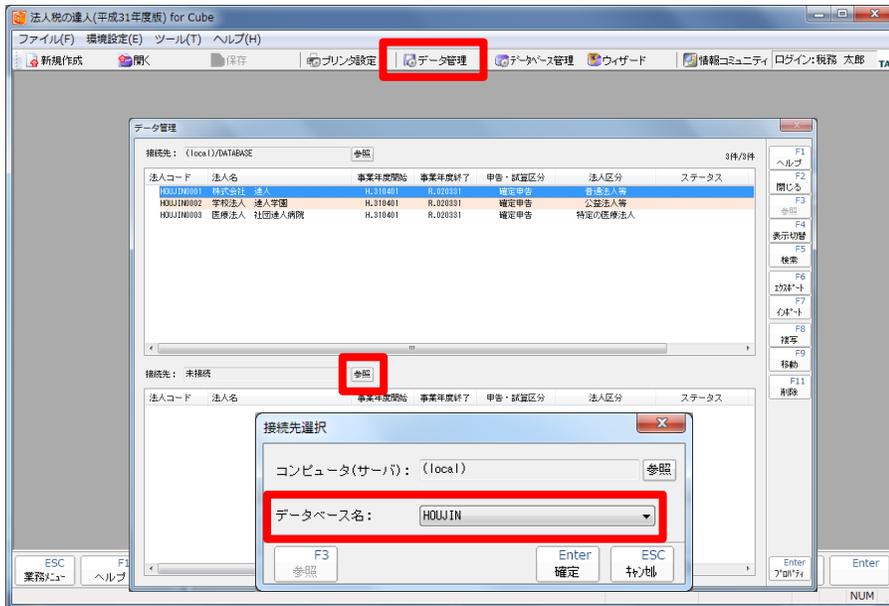
8. データ管理

1. データの複写と移動

データベース間で、データの複写や移動をすることができます。

「Professional Edition」では、ネットワークが接続されているサーバ・P C間でデータの複写や移動ができます。

【データ管理画面】



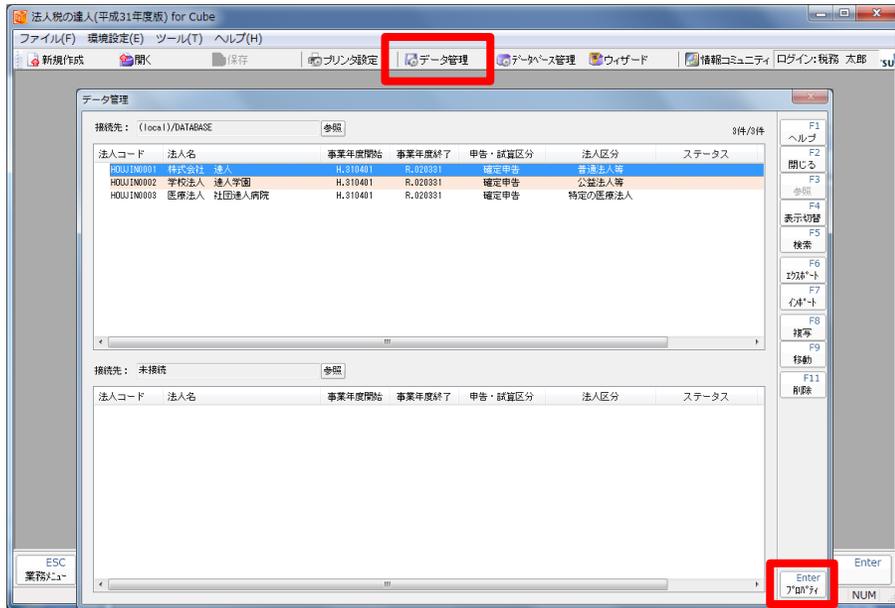
※一つのデータベース内に同一のデータを別コードで作成したい場合には、「接続先:」を同じデータベースに指定して複写を行ってください。

8. データ管理

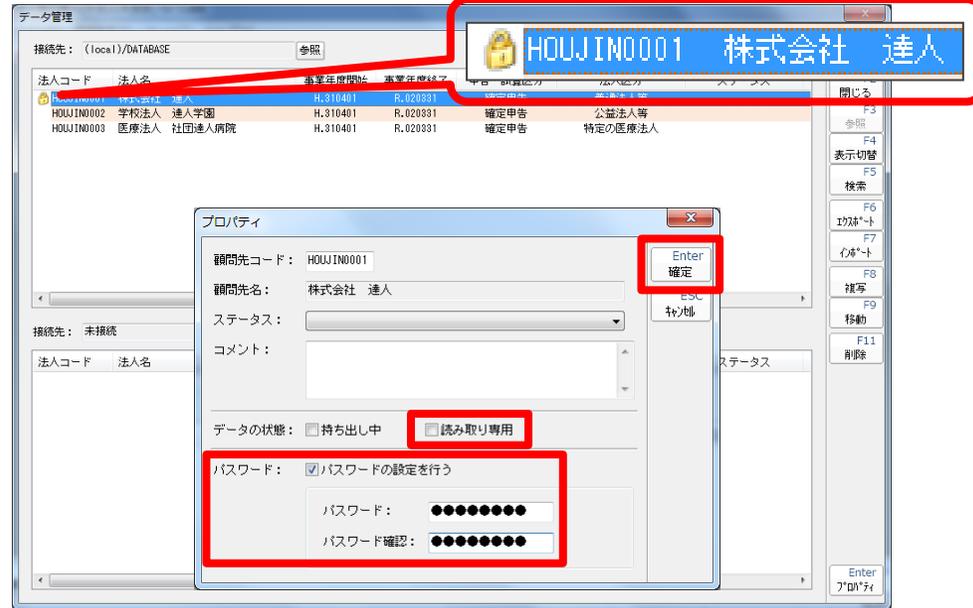
2. パスワードの設定

申告データ毎にパスワードを設定することができます。

【データ管理画面】



【プロパティ画面】



※パスワードを忘れてしまった場合には復旧ができなくなりますので、ご注意願います。

※「読み取り専用」にチェックを入れることで、誤って上書き保存してしまう事を防止できます。

9. オンラインヘルプ

業務ソフトウェアのヘルプからは、操作方法や自動計算の演算式の確認、ソフトウェアのバージョンを確認することができます。

1. 「F1ヘルプ」ボタンでは、操作方法や帳票の演算式が確認できます。

【申告書の作成画面】

所得の金額の計算に関する明細書		事業年度	平成31・04・01 令和02・03・31	法人名	株式会社 達人	別表四
区分	総額	留保		社外流出		平三十一・四・一 以後終了事業年度分
		①	②	配当 その他	③	
当期利益又は当期欠損の額	1	20,996,951	18,996,951	2,000,000		
加						
損金経理をした法人税及び地方 法人税(損金税を除く。)	2					
損金経理をした道府県民税及び 市町村民税	3					
損金経理をした納税充当金	4	9,900,234	9,900,234			
減価償却の償却超過額	6			その他		
役員給与の損金不算入額	7			その他		
交際費等の損金不算入額	8			その他		
算						
一括償却資産限度超過	9	240,000	240,000			
次業紙合計	10	3,600,000	3,600,000			
小計	11	13,740,234	13,740,234			
減						
減価償却超過額の当期認容額	12					
精算充当金から支出した事業税 等の金額	13	1,741,234	1,741,234			
受取配当等の益金不算入額 (別表八(一)F25)	14	148,988		*	148,988	
外国子会社から受ける剰余金の配当等 の益金不算入額(別表八(二)F26)	15			*		
受受益の益金不算入額	16			*		

別表四の演算式

別表四の演算式

別表四の演算式

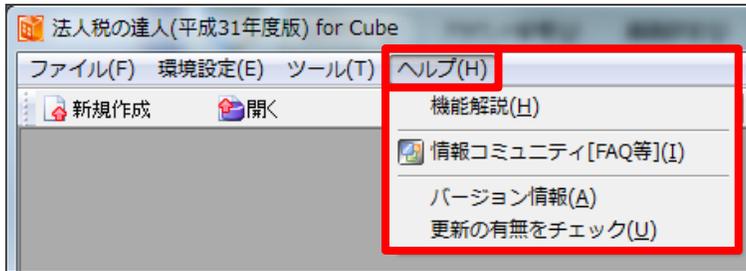
項番	項目名	項目内容(演算式)	計算/入力
	事業開始年月日	「基本情報の登録」ダイアログボックスの[事業年度(開始)]	
	事業終了年月日	「基本情報の登録」ダイアログボックスの[事業年度(終了)]	
	法人名	「基本情報の登録」ダイアログボックスの[法人名]	
[1]	当期利益又は当期欠損の額 ①総額	入力	
	当期利益又は当期欠損の額 ②留保	[1]①総額 - ([1]③社外流出 配当 + [1]③社外流出 その他)	
	当期利益又は当期欠損の額 ③社外流出 配当	入力	
	当期利益又は当期欠損の額 ④社外流出 その他	入力	
[2]	損金経理をした法人税及び地方法人税(附帯税を除く。) ①総額	[2]②留保	
	損金経理をした法人税及び地方法人税(附帯税を除く。) ②留保	別表五(二)[5]④(下段) + 別表五(二)[5]⑤(下段)・「帳票設定(別表四)」ダイアログボックスで[自動連動しない(手入力)]が選択されている場合は入力	○
[3]	損金経理をした道府県民税及び市町村民税 ①総額	[3]②留保	
	損金経理をした道府県民税及び市町村民税 ②留保	別表五(二)[10]④(下段) + 別表五(二)[10]⑤(下段) + 別表五(二)[15]④(下段) + 別表五(二)[15]⑤(下段)・「帳票設定(別表四)」ダイアログボックスで[自動連動しない(手入力)]が選択されている場合は入力	○

9. オンラインヘルプ

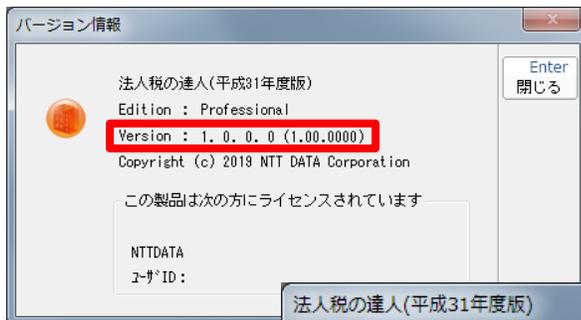
2. 「ヘルプ (H)」ボタンでは、機能解説や情報コミュニティの閲覧、バージョンやプログラム更新の有無が確認できます。

【機能解説画面】

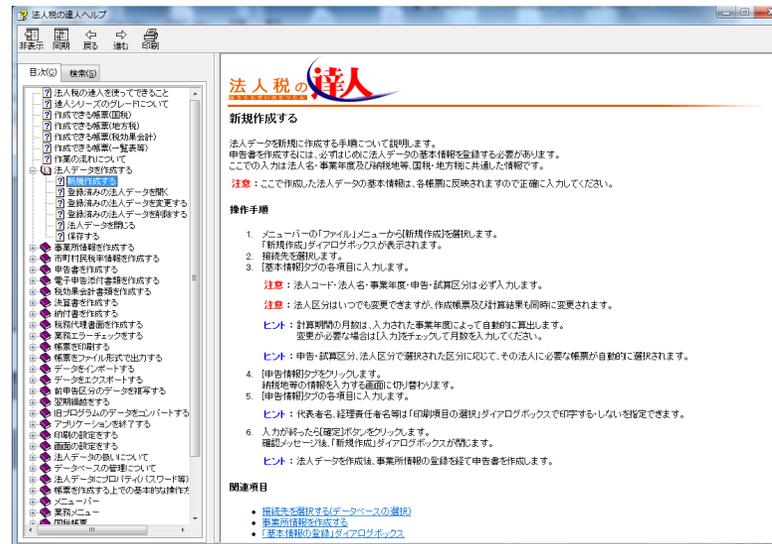
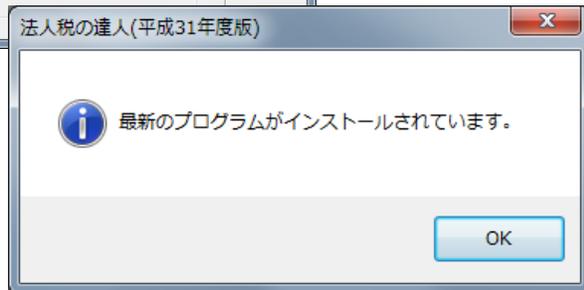
【情報コミュニティ画面】



【バージョン情報画面】



【更新結果画面】



10. 情報コミュニティ

情報コミュニティでは、セミナー情報や各種マニュアル、よくあるご質問（FAQ）などの有用な情報を掲載しています。

1. よくあるご質問（FAQ）

多く寄せられるご質問とその回答を、業務ソフトウェア別に「よくあるご質問（FAQ）」として掲載しています。

【情報コミュニティ画面】



【よくあるご質問（FAQ）画面】

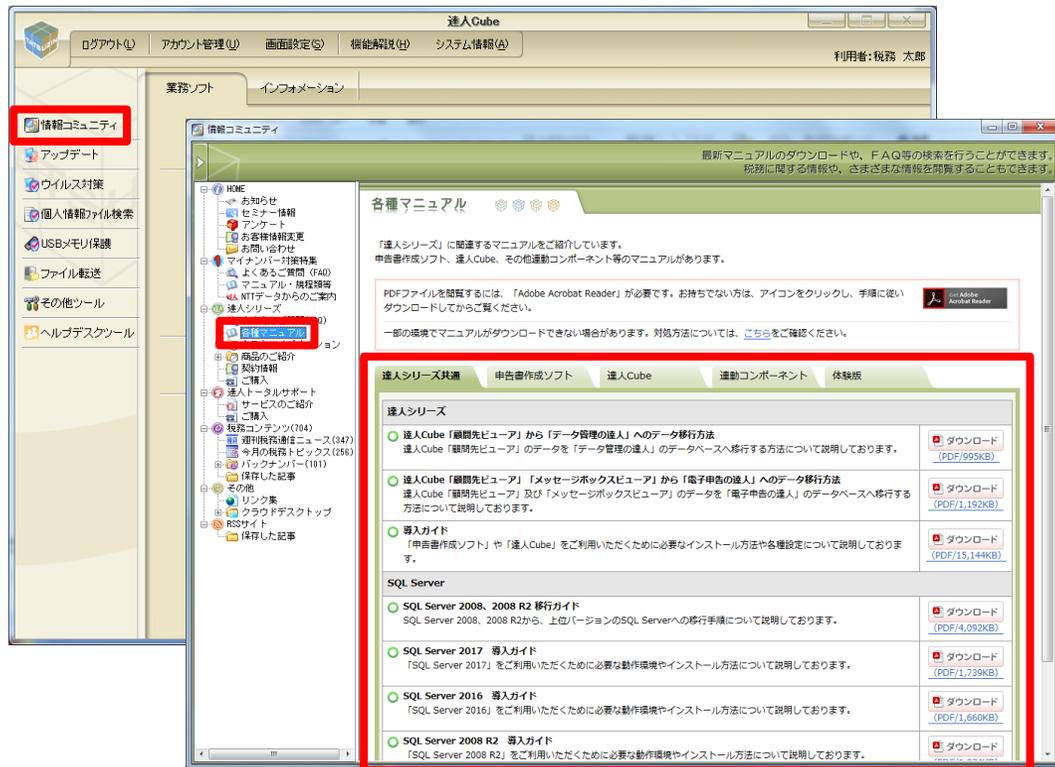


10. 情報コミュニティ

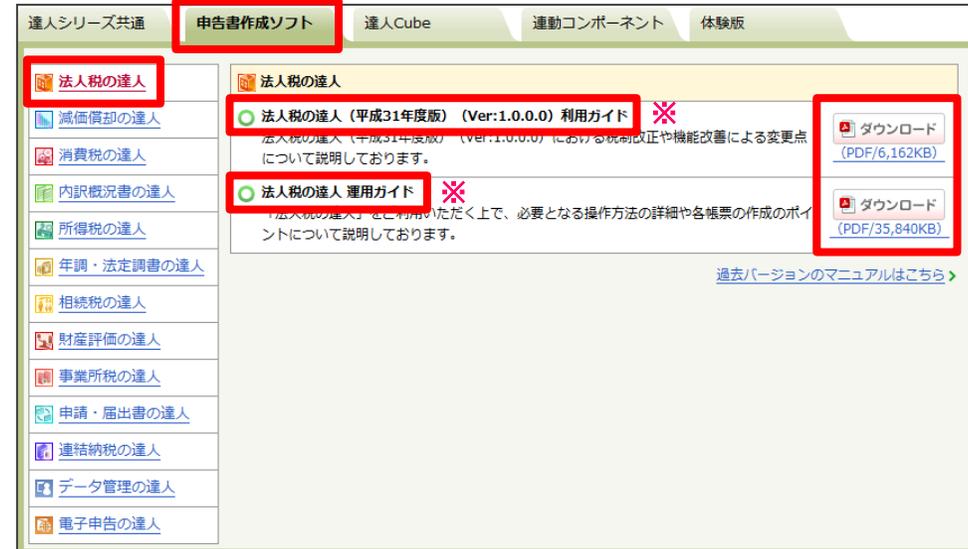
2. 各種マニュアル

- ・「達人シリーズ」に関連する全てのマニュアルがPDF形式で掲載されています。
- ・マニュアルは全てダウンロードできます。

【情報コミュニティ画面】



【各種マニュアル画面】



※運用ガイド：システムの基本操作を説明

※利用ガイド：税制改正や機能改善による変更点等を説明

10. 情報コミュニティ

3. オンラインセミナー

- ・業務ソフトウェアの利用方法を多くの利用者様にご理解いただけるよう、各研修会でおこなった内容をオンラインセミナーにて配信しています。
- ・研修会で配布した資料のダウンロードもできます。

【情報コミュニティ画面】



【セミナー情報画面】

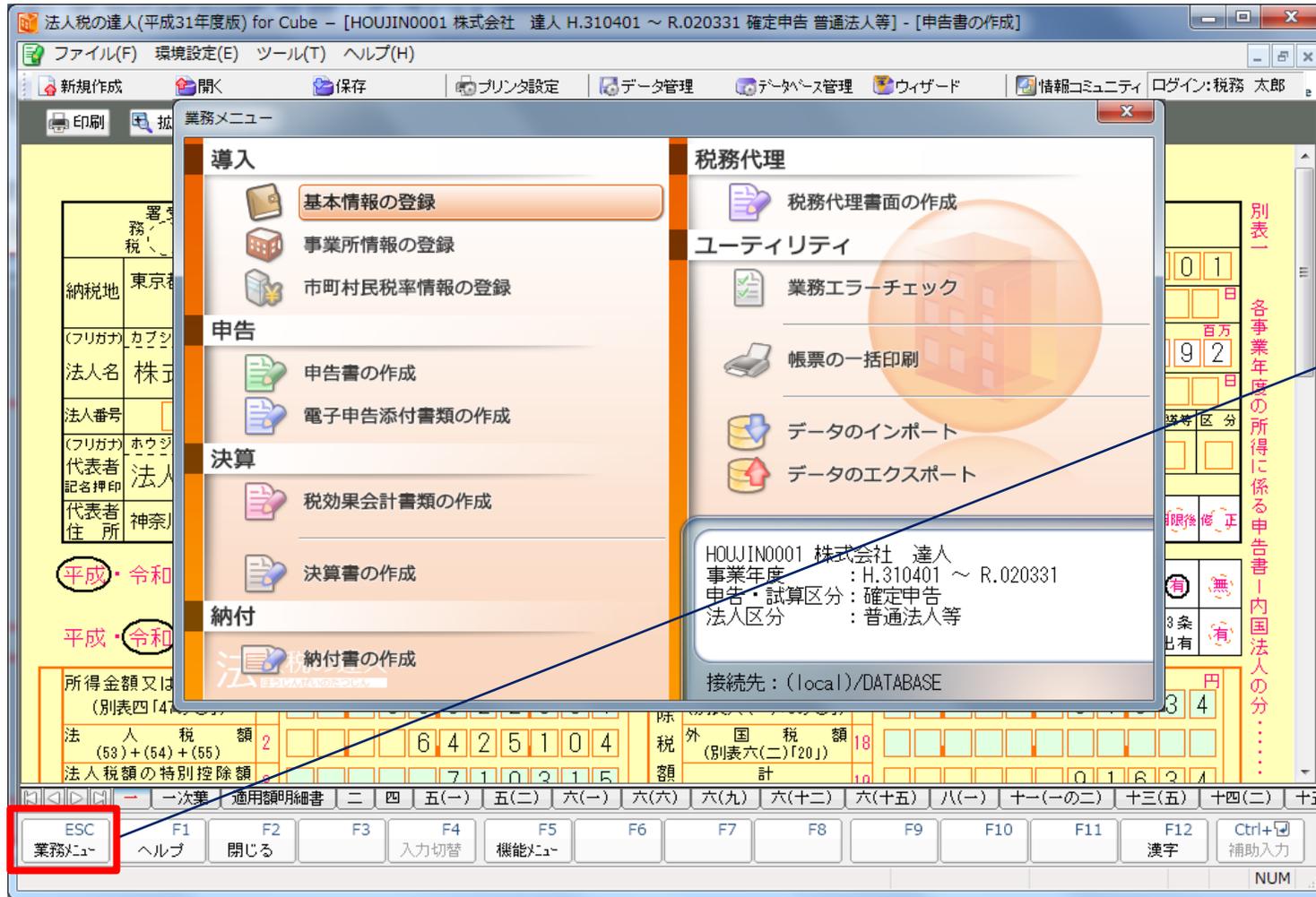
「所得税の達人」操作研修会			
オンラインセミナー名	「所得税の達人」操作研修会 ※再生時間：約160分	▶ セミナーを視聴する	
配信開始日	平成31年2月7日（木）		
オンラインセミナー内容及び資料	本セミナーでは、平成31年1月19日にリリースされた「所得税の達人（平成30年分版）」の機能改善に関する重要ポイントや、「e-Tax利用の簡便化」に伴う「達人シリーズ」の対応について説明しております。 ※ 本動画は、平成31年1月16日に開催された「e-Tax利用の簡便化」に関するセミナーの録画です。 【セミナー内容】 1. 「所得税の達人（平成30年分版）」 2. 「電子申告の達人」基本操作（02） 3. 「e-Tax利用の簡便化」と「達人シリーズ」 なお、本セミナーの説明資料をダウンロードできます。 ▶ セミナー資料 (13,401KB)		

セミナーのお申し込み			
2019年7月開催のセミナー			
日付	場所	セミナー名	
2019年07月09日（火） 13:30～16:30（13:00 受付開始）	金沢	「法人税の達人」操作研修会	詳細をみる
2019年07月12日（金） 13:30～15:30（13:00 受付開始）	東京	「連結納税の達人」製品説明会	詳細をみる
2019年07月17日（水） 13:30～16:30（13:00 受付開始）	東京	電子申告義務化に向けた「企業様向け電子申告セミナー」	詳細をみる
2019年07月19日（金） 13:30～16:30（13:00 受付開始）	大阪	電子申告義務化に向けた「企業様向け電子申告セミナー」	詳細をみる
2019年07月23日（火） 13:30～16:30（13:00 受付開始）	東京	「達人シリーズ」基本操作研修会	詳細をみる
2019年07月24日（水） 13:30～16:30（13:00 受付開始）	東京	「達人シリーズ」基本操作研修会	詳細をみる
2019年07月25日（木） 13:30～16:30（13:00 受付開始）	大阪	「達人シリーズ」基本操作研修会	詳細をみる
2019年07月26日（金） 13:30～16:30（13:00 受付開始）	札幌	「達人シリーズ」基本操作研修会	詳細をみる

1.1. 「達人シリーズ」基本操作

1. 業務メニューの説明

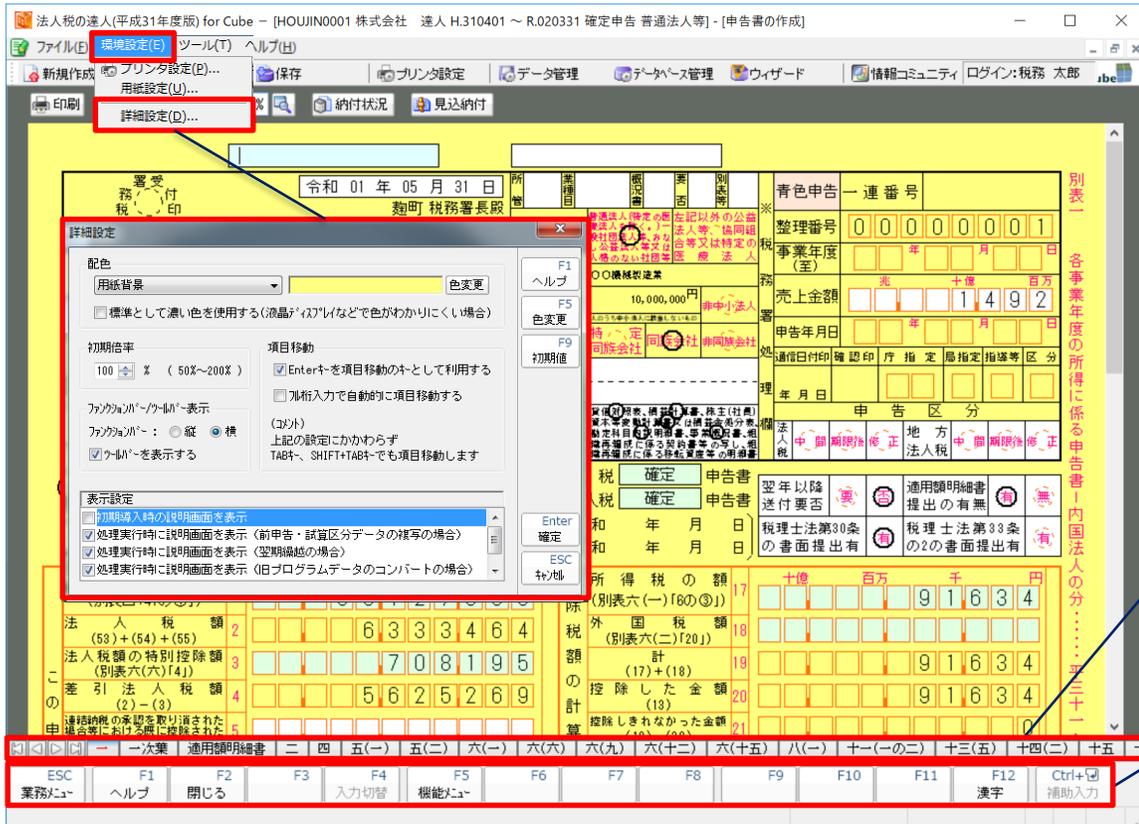
「業務メニュー」ボタンは、申告書の作成中に基本情報の登録をしたい時など、他の業務に切り替えをするために使用します。



画面は法人税の達人

1.1. 「達人シリーズ」基本操作

2. 入力画面の説明



【項目の配色】

白・・・入力項目

※2重枠が表示される項目はダブルクリックすると入力用のダイアログが表示されます。

緑・・・自動計算項目

※「F4入力切替」で入力可能（赤色で表示されます）

黄・・・自動計算項目 ※入力不可

・作成する帳票が画面下のタブに表示されます。

・タブをクリックすれば、どこからでも入力できます。

※入力された数値はタイムリーに計算され、表示されます。

・業務メニューの表示、オンラインヘルプの表示、計算項目の入力切替などを行うファンクションキー

※キーボードによる操作もできます。

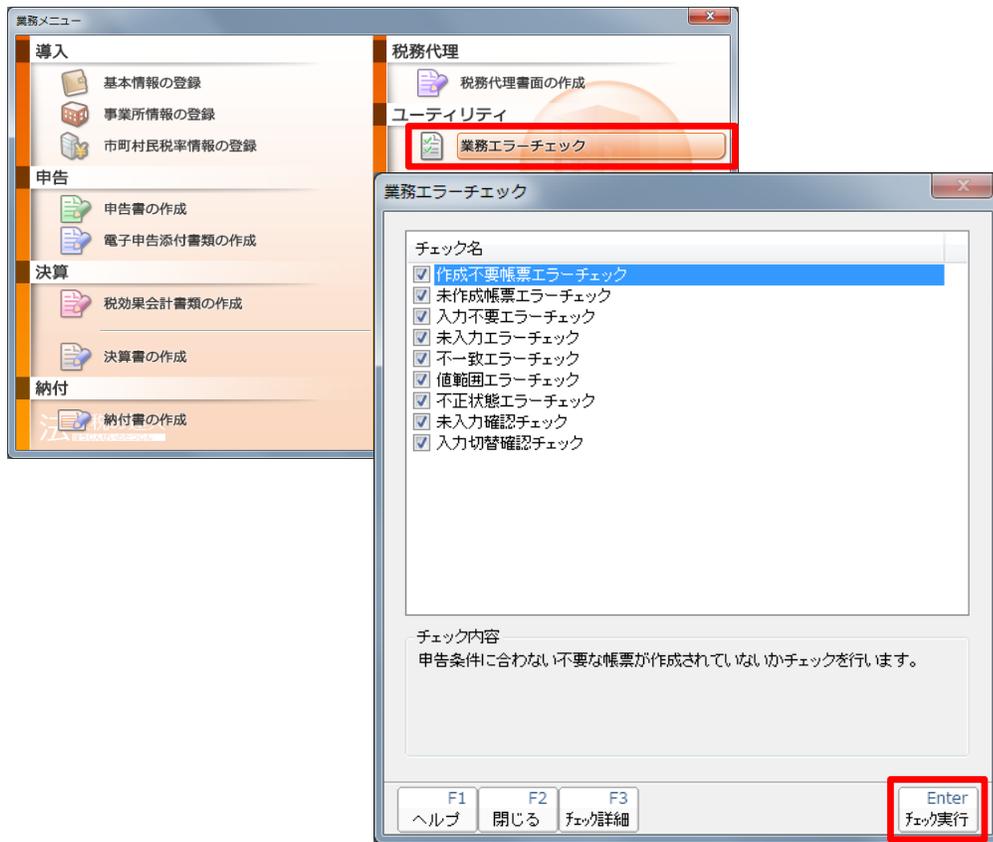
※F5機能メニューの「05/帳票切替」では、タブに表示されている帳票を一覧形式で表示し選択することができます。

1 1. 「達人シリーズ」基本操作

3. 業務エラーチェック

■業務エラーチェックでは、作成した帳票に不備や誤りがないかをチェックし、結果をPDFファイルに出力できます。

対応税目：法人税の達人、消費税の達人、所得税の達人、年調・法定調書の達人、相続税の達人、連結納税の達人



作成日時：令和01年05月27日 19時36分

チェック内容一覧

法人コード	法人名	確認 日付	チェック②	チェック①	担当
HOUJIN0001	株式会社 達人		/	/	/
税目	申告・試算区分	事業年度	印		
法人税	確定申告	H. 310401~R. 020331			

○チェック項目詳細リストとの照合の結果、以下の通りのエラー及び確認項目が存在します。

チェック名	チェック内容	確認欄
未入力エラー	帳票名：別表！ [税理士法33条の2の書面提出有]にチェックが入っていません。 [税理士法33条の2の書面提出有]は税理士法33条の2の書面が作成されている場合にチェックを入れる必要があります。	
未入力確認	ダイアログボックス名：地方税共通情報 [申告期限の延長の区分(承認)の有無 事業税]が選択されていません。 上記項目の内容について確認してください。 (「地方税共通情報」ダイアログボックスは、第6号様式、第20号様式から表示できます。)	
未入力確認	ダイアログボックス名：地方税共通情報 [申告期限の延長の区分(承認)の有無 法人税]が選択されていません。 上記項目の内容について確認してください。 (「地方税共通情報」ダイアログボックスは、第6号様式、第20号様式から表示できます。)	
未入力確認	ダイアログボックス名：地方税共通情報 [国外関連者の有無]が選択されていません。 上記項目の内容について確認してください。 (「地方税共通情報」ダイアログボックスは、第6号様式、第20号様式から表示できます。)	
作成不要帳票エラー	該当するエラー及び確認項目はありません。	
未作成帳票エラー	該当するエラー及び確認項目はありません。	
入力不要エラー	該当するエラー及び確認項目はありません。	
不一致エラー	該当するエラー及び確認項目はありません。	
値範囲エラー	該当するエラー及び確認項目はありません。	
不正状態エラー	該当するエラー及び確認項目はありません。	
入力切替確認	該当するエラー及び確認項目はありません。	

※当該機能は、Professional Edition 及び Standard Edition で利用可能です。

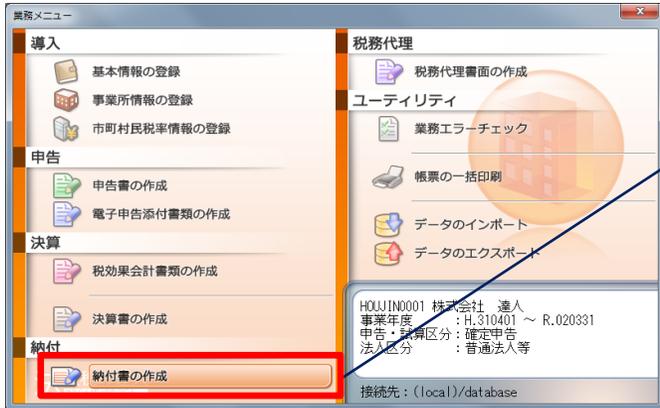
画面は法人税の達人

1.1. 「達人シリーズ」基本操作

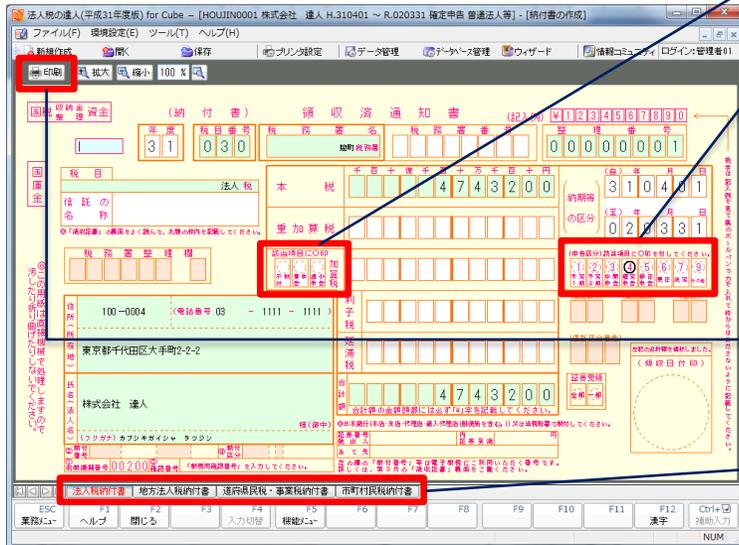
4. 納付書の作成

■ 納付書の作成ができます。(例：法人税の達人)

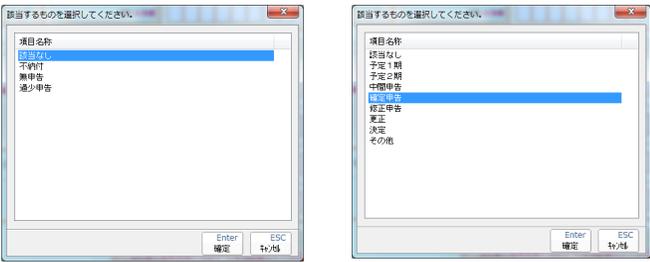
対応税目：法人税の達人、消費税の達人、所得税の達人、年調・法定調書の達人、相続税の達人、連結納税の達人（個社処理用）



・「納付書の作成」を選択すると納付書が表示されます。
※年度、税務署番号、重加算税、加算税、利子税、延滞税の金額等は、手入力となります。



・赤枠部分をダブルクリックして、該当する項目名称を選択します。



・納付書は
国税：B4用紙、ドットプリンター
地方税：A4用紙
での印刷が可能です。

・他の納付書を作成する場合には、該当のタブをクリックします。

画面は法人税の達人

1 1. 「達人シリーズ」基本操作

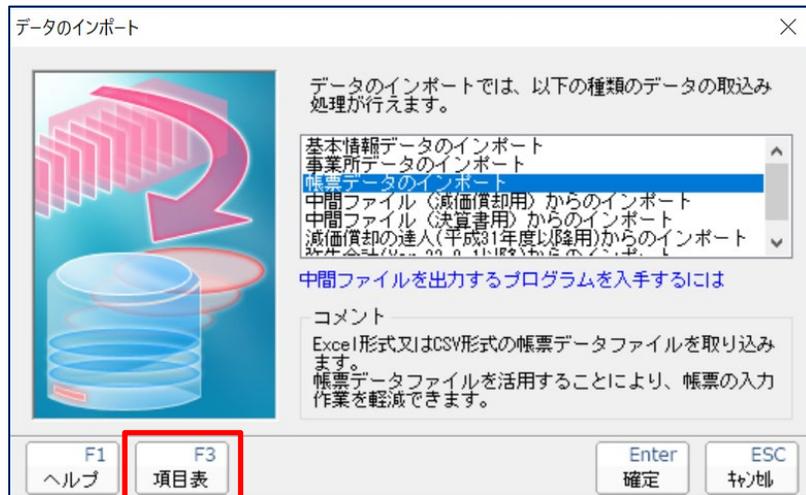
5. 帳票データのインポート・エクスポート

達人シリーズでは、作成した申告書等の帳票上の入力項目を、Excel形式 及び CSV形式でインポート（取り込み）／エクスポート（出力）することができます。

・帳票データのインポート・エクスポートができる達人シリーズ

法人税の達人、消費税の達人、内訳概況書の達人、年調・法定調書の達人、所得税の達人、申請・届出書の達人
連結納税の達人（個社処理用）

※対象となる帳票・項目の詳細は「データのインポート／エクスポート」画面の「F3／項目表」でご確認ください。

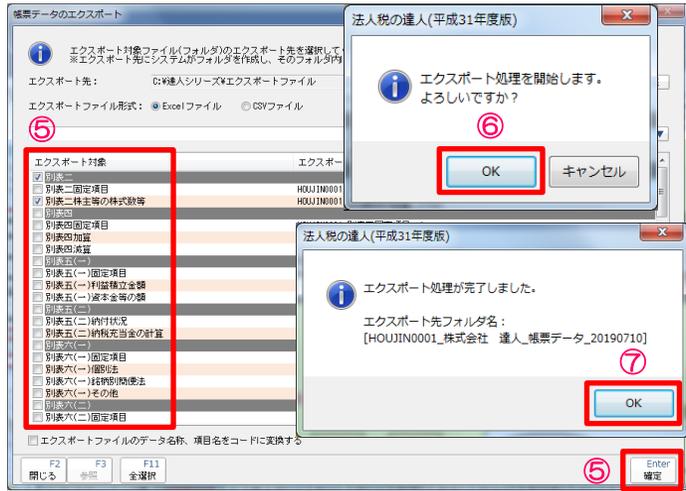


※当該機能は、Professional Edition 及び Standard Editionで利用可能です。

1.1. 「達人シリーズ」基本操作

5. 帳票データのインポート・エクスポート

■ 帳票データのエクスポート



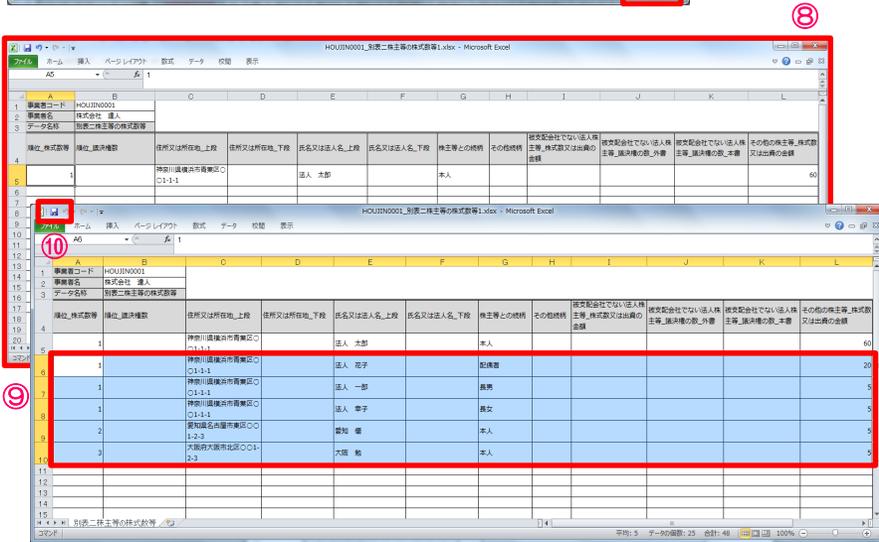
⑤ エクスポート対象（今回は「別表二 株主等の株式数等」）にチェックを入れ、「確定」をクリック

※エクスポート対象帳票を複数選択した場合、一つのフォルダに纏めて出力されます。

⑥ 「OK」をクリック

⑦ 「OK」をクリック

ファイルがエクスポートされます。



⑧ エクスポートしたファイルを開く

⑨ 株式数、住所、氏名等を入力又は他のデータから貼り付け

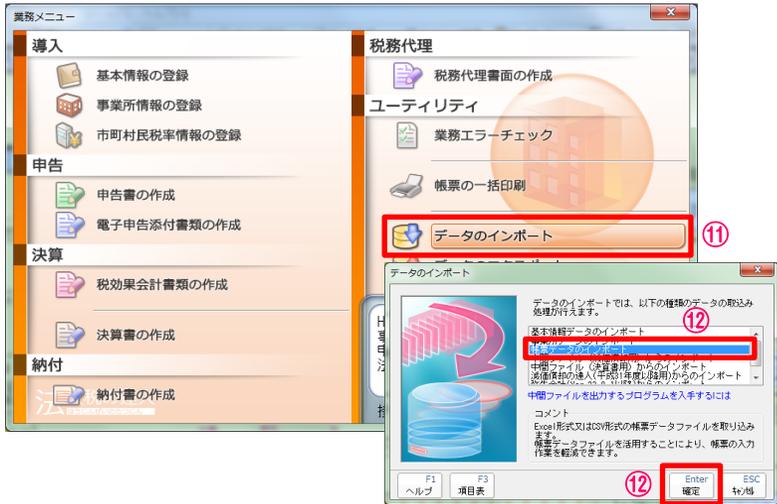
⑩ 上書き保存

※編集したデータは、元の出力したフォルダに戻してください。

1.1. 「達人シリーズ」基本操作

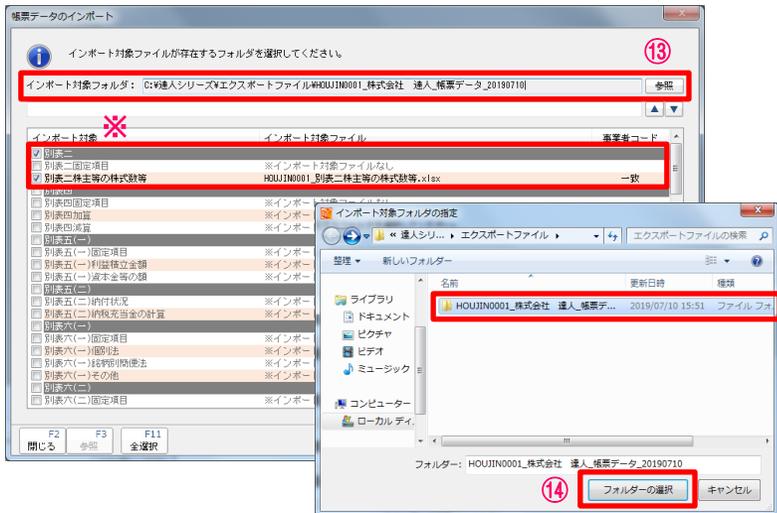
5. 帳票データのインポート・エクスポート

■ 帳票データのインポート



⑪ 「データのインポート」を選択

⑫ データのインポート画面から「帳票データのインポート」を選択し、「確定」をクリック



⑬ 「参照」を選択

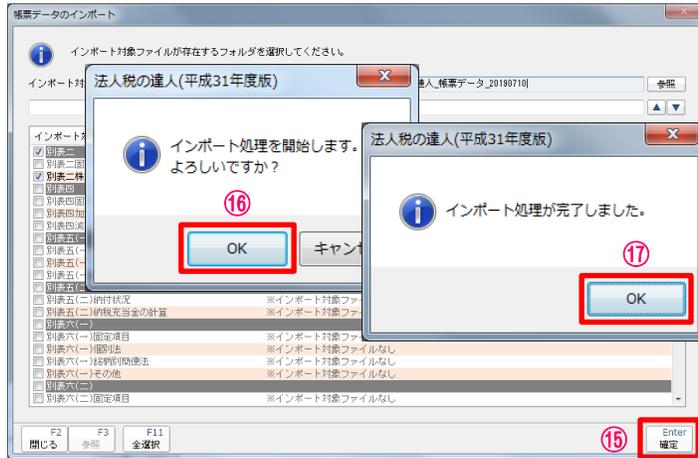
⑭ データをインポートするフォルダを指定し、「フォルダの選択」をクリック

※インポート対象にチェックが入り、インポート対象ファイル欄に指定したファイルが表示されていることを確認

1.1. 「達人シリーズ」基本操作

5. 帳票データのインポート・エクスポート

■ 帳票データのインポート



⑮ 「確定」をクリック

⑯ 「OK」をクリック

⑰ 「OK」をクリック

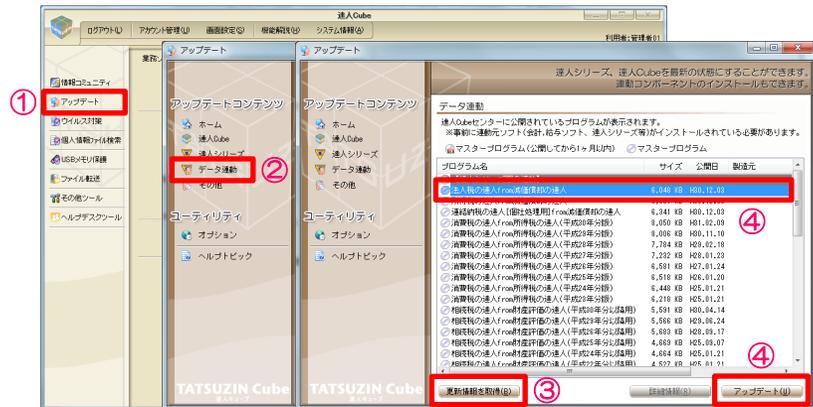
※データが取り込まれます。

順位	住所又は所在地	氏名又は法人名	種別	株式数
1	神奈川県横浜市青葉区〇〇1-1-1	法人 次郎	本 人	60
※ 1	神奈川県横浜市青葉区〇〇1-1-1	法人 花子	配 債 者	20
1	神奈川県横浜市青葉区〇〇1-1-1	法人 一郎	長 男	5
1	神奈川県横浜市青葉区〇〇1-1-1	法人 幸子	長 女	5
2	愛知県名古屋市長区〇〇1-2-3	愛知 様	本 人	5
3	大阪府大阪市北区〇〇1-2-3	大阪 様	本 人	5

1.1. 「達人シリーズ」基本操作

6. 達人間のデータ連動（減価償却の達人から法人税の達人への別表十六の連動）

■ 連動コンポーネントのインストール（達人Cubeのアップデートからの取得）



- ① 達人Cubeの画面から「アップデート」をクリック
- ② アップデート画面から「データ連動」をクリック
- ③ 「更新情報を取得」をクリック
- ④ プログラム名から「法人税の達人from減価償却の達人」を選択し、「アップデート」をクリック



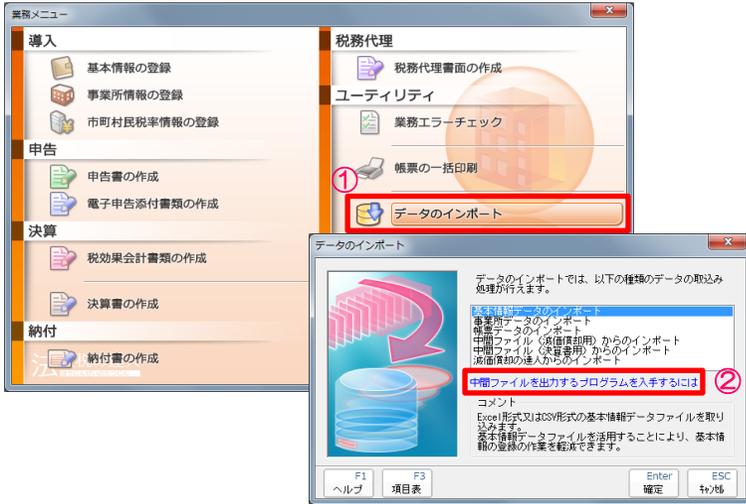
- ⑤ 「次へ」をクリック
 - ⑥ 「インストール」をクリック
 - ⑦ 「完了」をクリック
- ※法人税の達人の「データのインポート」メニューに「減価償却の達人からのインポート」が表示されます。



1.1. 「達人シリーズ」基本操作

6. 達人間のデータ連動（減価償却の達人から法人税の達人への別表十六の連動）

■ 連動コンポーネントのインストール（達人ホームページからの取得）



- ① 「データのインポート」を選択
 - ② 「中間ファイル（減価償却）からのインポート」をクリック
- ※達人Cubeへログインしていない場合には表示されません。



- ③ 減価償却の達人の「ダウンロード」をクリック
 - ④ 「連動コンポーネントをダウンロードする」をクリック
- 以降は、「達人Cubeのアップデートからの取得」の⑤～⑦と同様

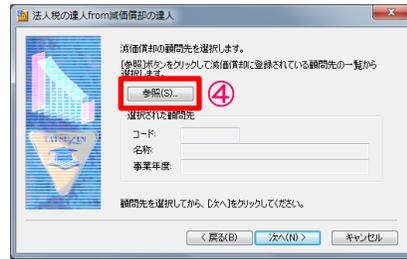
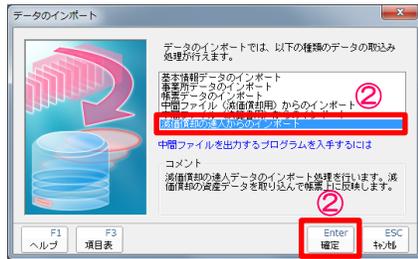
1.1. 「達人シリーズ」基本操作

6. 達人間のデータ連動（減価償却の達人から法人税の達人への別表十六の連動）

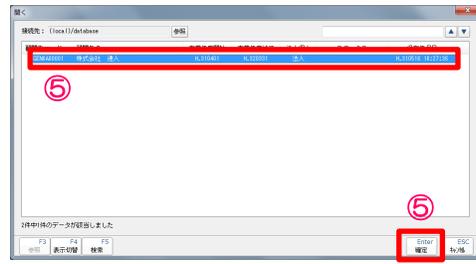
■ 減価償却の達人からのデータインポート



① 「データのインポート」を選択



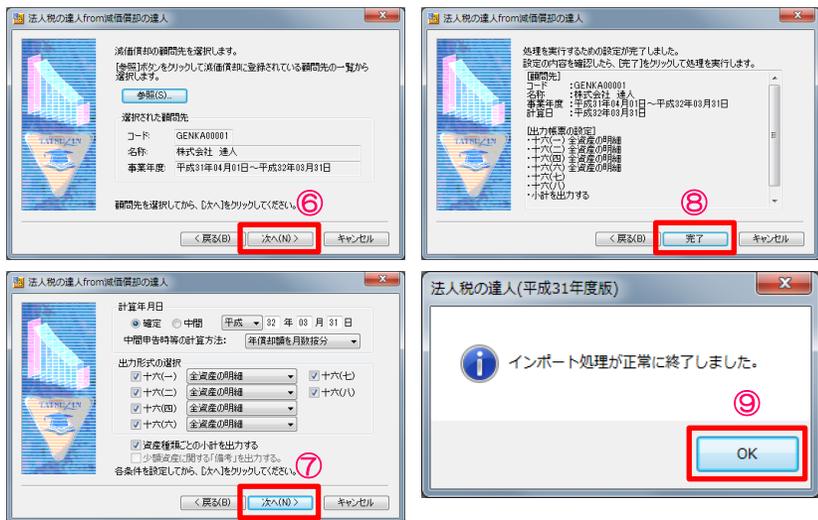
② 「減価償却の達人からのインポート」を選択し、「確定」をクリック
③ 「次へ」をクリック
④ 「参照」をクリック
⑤ データを取込む顧問先名を選択し、「確定」をクリック



1.1. 「達人シリーズ」基本操作

6. 達人間のデータ連動（減価償却の達人から法人税の達人への別表十六の連動）

■ 減価償却の達人からのデータインポート



- ⑥ 選択した顧問先名が表示されていることを確認し、「次へ」をクリック
- ⑦ 出力形式の選択をし、「次へ」をクリック
※デフォルトは「全資産の明細」
- ⑧ 「完了」をクリック
- ⑨ 「OK」をクリック

① 旧定額法又は定額法による減価償却資産の償却額の計算に関する明細書		事業年度 平成 31 - 04 - 01 令和 02 - 03 - 31	法人名 株式会社 達人
種別	1 建物		
償却	2 減価法		
種目	3 工場		
取得年月日	4 平成 30 - 10 - 01		
事業の用に供した年月	5 平成 30 - 10		
耐用年数	6 31		
取得価額又は製作価額	7 5,000,000		
圧縮記録による積立金計上額	8		
償却額	9 5,000,000		
償却後の残存価額	10 4,752,500		
期末現在の積立金の額	11		
積立金の期中取崩額	12		
償却後の残存価額	13 4,752,500		
償却に計上した当期償却額	14 165,000		
前期から繰り越した償却額	15		
償却額	16 4,917,500		
償却後の残存価額	17 4,917,500		
償却率	18		
償却率	19		
償却率	20		
償却率	21		
償却率	22		
償却率	23		
償却率	24		
償却率	25		
償却率	26		
償却率	27		
償却率	28		
償却率	29		
償却率	30		
償却率	31		
償却率	32		
償却率	33		
償却率	34		
償却率	35		
償却率	36		
償却率	37		
償却率	38		
償却率	39		
償却率	40		
償却率	41		
償却率	42		
償却率	43		
償却率	44		
償却率	45		
償却率	46		
償却率	47		
償却率	48		
償却率	49		
償却率	50		
償却率	51		
償却率	52		
償却率	53		
償却率	54		
償却率	55		
償却率	56		
償却率	57		
償却率	58		
償却率	59		
償却率	60		
償却率	61		
償却率	62		
償却率	63		
償却率	64		
償却率	65		
償却率	66		
償却率	67		
償却率	68		
償却率	69		
償却率	70		
償却率	71		
償却率	72		
償却率	73		
償却率	74		
償却率	75		
償却率	76		
償却率	77		
償却率	78		
償却率	79		
償却率	80		
償却率	81		
償却率	82		
償却率	83		
償却率	84		
償却率	85		
償却率	86		
償却率	87		
償却率	88		
償却率	89		
償却率	90		
償却率	91		
償却率	92		
償却率	93		
償却率	94		
償却率	95		
償却率	96		
償却率	97		
償却率	98		
償却率	99		
償却率	100		

- 減価償却データが別表十六に取込まれます。
- ※償却額の見直し等を行った際には、再度データインポートを行ってください。

2. 会計ソフトから達人シリーズへのデータ連動

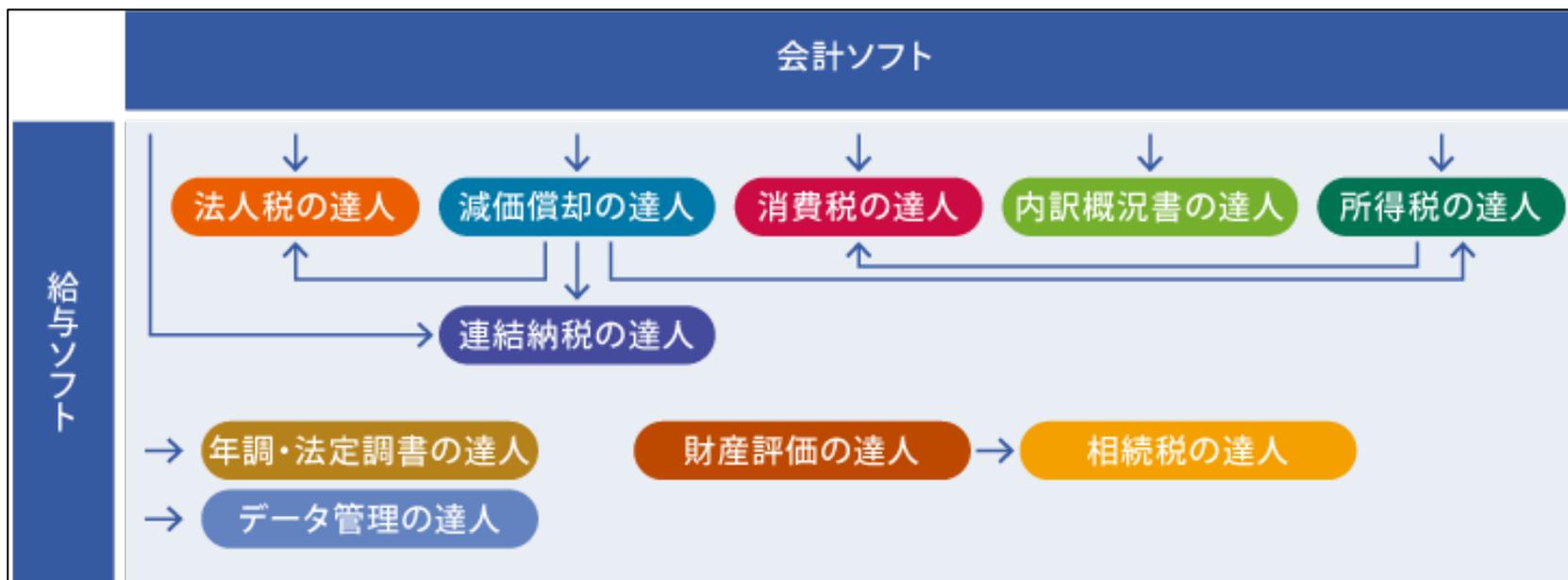
達人シリーズと「達人連動コンポーネント・中間ファイル」について

達人シリーズでは、市販会計・給与ソフトから様々なデータを取り込み、申告書・添付書類を効率的に作成することができます。

■データ取り込みには、以下の方法があります。

- ①達人連動コンポーネントによるデータ取込：弥生会計、会計王ほか
- ②中間ファイルによるデータ取込：マネーフォワードクラウド会計、勘定奉行ほか

今回は、達人連動コンポーネント（弥生会計）によるデータ取込の場合の作成方法をご説明します。

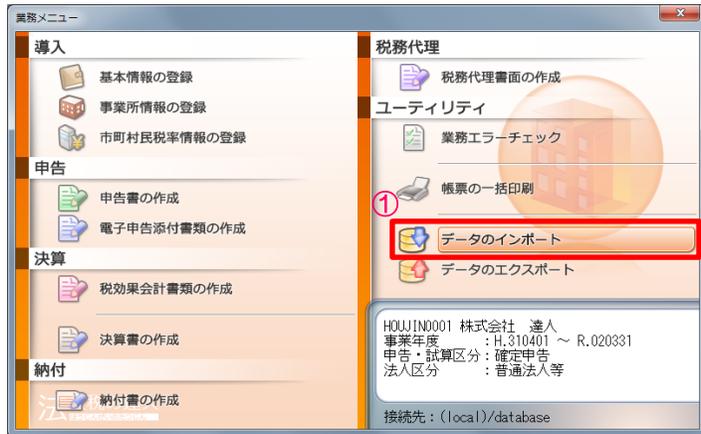


※連動可能なソフトや税目の詳細は、情報コミュニティまたはWebページにてご確認ください。

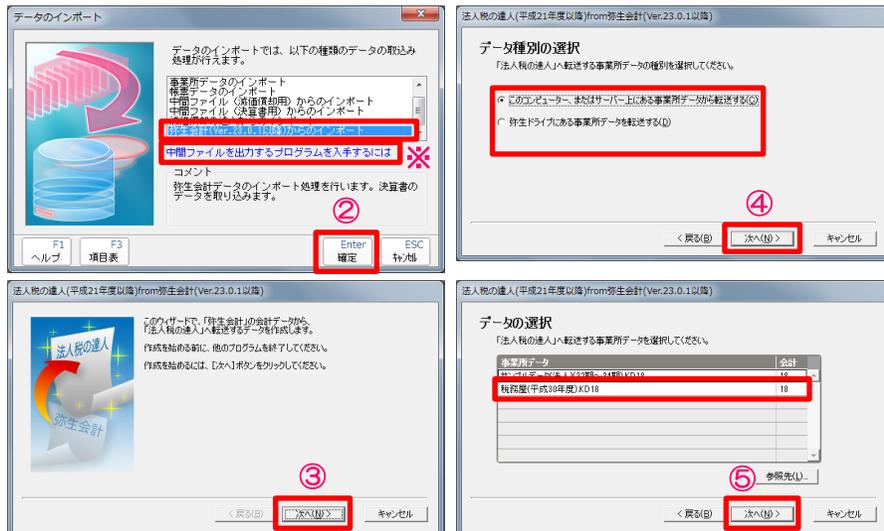
1. 決算書の作成

1. 連動コンポーネントによる決算書の作成

■ 弥生会計からのインポート



① 「データのインポート」を選択



② 「弥生会計からのインポート」を選択し、「確定」をクリック

※ 「中間ファイルを読み出すプログラムを入手するには」では、各種会計ソフトの連動コンポーネントのダウンロードや操作マニュアルを入手することができます。(達人Cubeへのログインが必要です)

③ 「次へ」をクリック

④ データ種別を選択し、「次へ」をクリック

⑤ データを選択し、「次へ」をクリック

1. 決算書の作成

1. 連動コンポーネントによる決算書の作成

■ 弥生会計からのインポート

法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

処理年度の選択

「法人税の連入」へ転送する処理年度を選択してください。

処理年度	会計期間
第2期	H26/04/01～H27/03/31
第3期	H27/04/01～H28/03/31
第4期	H28/04/01～H29/03/31

< 戻る(B) 次へ(H) キャンセル

法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

転送データの作成

作成するデータの名称を入力してください。

場所: C:\MH31\2555a\F2-21\F2-1\F4-bda-00c04f6b...

名称(N): Hg1TEMP4

会計(S)

[作成開始]ボタンをクリックすると、「法人税の連入」へ転送するデータを作成します。

< 戻る(B) 作成開始 キャンセル

法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

決算の種類を選択

「法人税の連入」へ転送する決算対象となる期間を選択してください。

決算書(S)

中間決算(上半期決算)(O)

月次決算(M)

期間(O): 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4

< 戻る(B) 次へ(H) キャンセル

法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

転送データの作成完了

「法人税の連入」へ転送するデータの作成が完了しました。

[完了]ボタンをクリックしてください。

< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

インポート対象設定

インポート対象帳票

貸借対照表

損益計算書

製造原価報告書

株主資本等変動計算書

・インポート対象を選択します。

※ 上記の欄にデータが存在する場合は上書きされます。

Enter 確定 ESC キャンセル

法人税の連入(平成31年度版)

いくつかの科目が未設定の状態で見込まれました。
「決算書の作成」の取込設定により科目を設定してください。

OK

法人税の連入(平成31年度版)

インポート処理が正常に終了しました。

OK

- ⑥処理年度を選択し、「次へ」をクリック
- ⑦対象期間を選択し、「次へ」をクリック
- ⑧「作成開始」をクリック
- ⑨「完了」をクリック

- ⑩「確定」をクリック
- ⑪会計ソフトから取込んだデータが達人の科目に設定されなかった場合に表示されます。そのまま「OK」をクリックしてください。
- ⑫「OK」をクリック

1. 決算書の作成

1. 連動コンポーネントによる決算書の作成

■ 未設定科目の取込



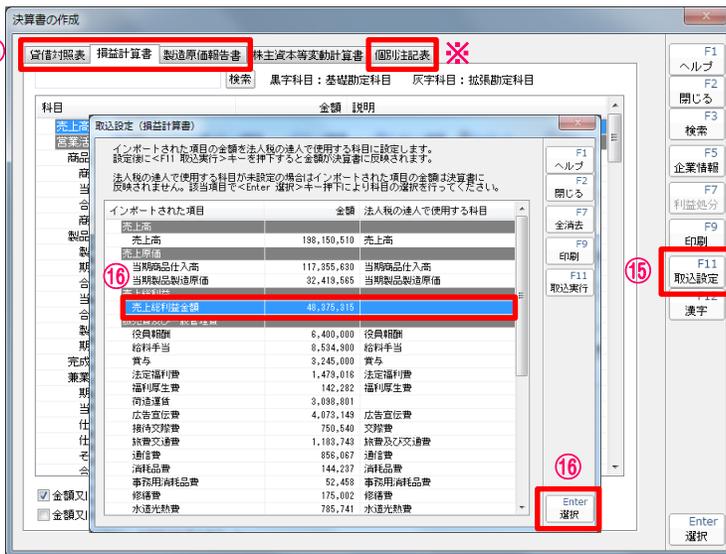
⑬ 「決算書の作成」を選択

⑭ 「確定」をクリック

※設定内容を変更する場合には、「▼」をクリックし、該当の項目を選択します。

※ 「F7 データ削除」

取り込んだ全ての決算書データを削除したい場合に使用します。



⑮ 帳票タブを選択し、「取込設定」をクリック

※ 「個別注記表」は直接手入力をしてください。

※ 「個別注記表」は翌期に繰り越すことができます。

⑯ 「法人税の達人で使用する科目」が空欄になっている「インポートされた項目」を選択し、「選択」をクリック

1. 決算書の作成

1. 連動コンポーネントによる決算書の作成

■ 未設定科目の取込

科目の選択 (損益計算書 - 売上総利益)

法人税の達人で使用する科目

説明

(未選択)

- 差引売上総利益 ※
- 割戻販売未実現利益繰入額
- 割戻販売未実現利益戻入額
- 返品調整引当金繰入額
- 返品調整引当金戻入額
- 商品売上総利益
- 製品売上総利益
- 不動産売上総利益
- 不動産事業総利益
- 開発事業総利益
- その他の事業総利益
- その他の売上総利益
- 完成工事総利益
- 兼業事業総利益

プラスの金額で

損失の場合はマイナス金額を登録

損失の場合はマイナス金額を登録

Enter 確定

ESC キャンセル

⑰ 「法人税の達人で使用する科目」から対応させる科目を選択し、「確定」をクリック

※グレーの科目は達人独自の科目ですが、インポートされた科目に対応させることができます。

⑱ 選択した科目が取込まれていることを確認し、「取込実行」をクリック、「OK」をクリック

取込設定 (損益計算書)

インポートされた項目の金額を法人税の達人で使用する科目に設定します。設定後にF11「取込実行」キーを押下すると金額が決算書に反映されます。法人税の達人で使用する科目が未設定の場合はインポートされた項目の金額が決算書に反映されません。該当項目でEnter「選択」キーを押下により科目の選択を行ってください。

インポートされた項目

金額	法人税の達人で使用する科目
売上高	売上高
198,150,510	売上高
当期商品仕入高	当期商品仕入高
117,355,630	当期商品仕入高
当期製品製造原価	当期製品製造原価
32,419,565	当期製品製造原価
売上総利益	完成工事総利益
売上総利益金額	完成工事総利益
49,375,315	完成工事総利益
販売費及び一般管理費	
役員報酬	役員報酬
6,400,000	役員報酬
給料手当	給料手当
6,534,000	給料手当
賞与	賞与
9,245,000	賞与
法定福利費	法定福利費
1,479,016	法定福利費
福利厚生費	福利厚生費
142,282	福利厚生費
商運包装費	商運包装費
3,098,801	商運包装費
広告宣伝費	広告宣伝費
4,073,149	広告宣伝費
接待交際費	交際費
750,540	交際費
旅費交通費	旅費及交通費
1,169,749	旅費及交通費
通信費	通信費
856,067	通信費
消耗品費	消耗品費
144,237	消耗品費
事務用消耗品費	事務用消耗品費
52,458	事務用消耗品費
修繕費	修繕費
175,002	修繕費
水道光熱費	水道光熱費
785,741	水道光熱費

閉じる

Enter 選択

決算書の作成

科目

金額	説明
198,150,510	売上高の合計額
148,775,195	売上高
商品売上原価	
商品期首仕入高	
117,355,630	当期商品仕入高
合計	
商品期末仕入高	
当期製品製造原価	
32,419,565	当期製品製造原価
合計	
製品売上原価	
製品期首仕入高	
期後半製品期首高	
合計による製品受入高	
プラスの金額で登録	
期後半製品期末高	
プラスの金額で登録	
完成工事原価	
兼業事業売上原価	
期後半売上原価	
当期仕入高	
仕入引戻及戻し高	
プラスの金額で登録	
仕入引戻し高	
プラスの金額で登録	
その他の仕入高	
合計	

閉じる

Enter 選択

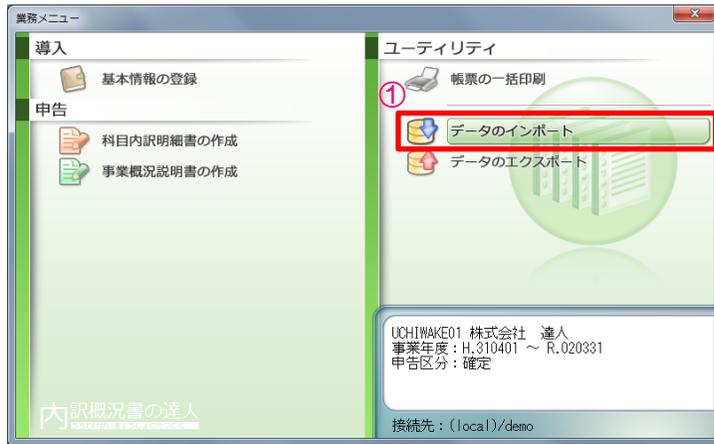
⑲ 「閉じる」をクリック

⑳ 「閉じる」をクリック

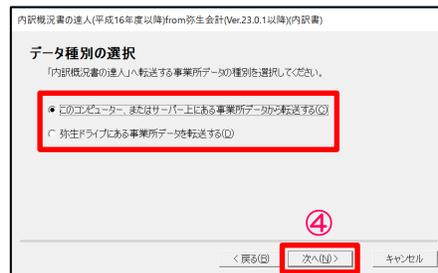
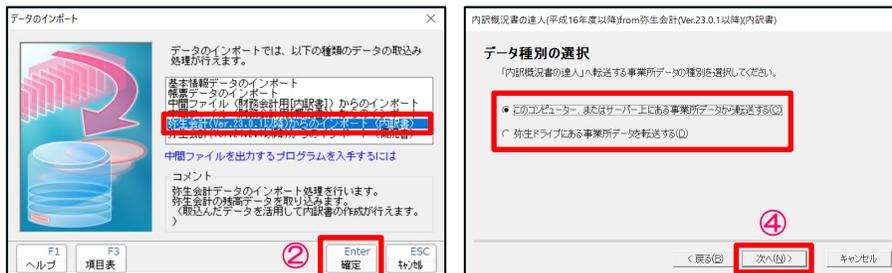
※設定した内容は翌期繰越をする際に引き継がれますので、会計ソフト側の科目変更等がない限り、次年度以降、この処理は必要ありません。

2. 勘定科目内訳明細書の作成

2. 連動コンポーネントによる勘定科目内訳明細書の作成



①内訳概況書の達人を起動後、該当のデータを選択し、「データのインポート」をクリック

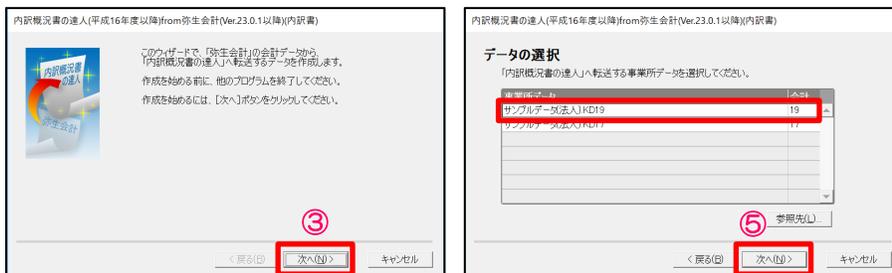


②「弥生会計からのインポート (内訳書)」を選択し、「確定」をクリック

③「次へ」をクリック

④データ種別を選択し、「次へ」をクリック

⑤データを選択し、「次へ」をクリック



2. 勘定科目内訳明細書の作成

2. 連動コンポーネントによる勘定科目内訳明細書の作成

内訳明細書の連入(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)

処理年度を選択
「内訳明細書の連入」へ転送する処理年度を選択してください。

処理年度	会計期間
前年度	H29/04/01 ~ H29/03/31
当年度	H30/04/01 ~ H31/03/31

⑥

< 戻る(B) **次へ(N)** キャンセル

内訳明細書の連入(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)

転送データの作成
作成するデータの名前を入力してください。

場所: C:_Mlg01\2559a1e-21d7-f11d4-bda-f00c04660b

名称(N): [M]ITEMS

⑧

[作成開始]ボタンをクリックすると「内訳明細書の連入」へ転送するデータを作成します。

< 戻る(B) **作成開始** キャンセル

内訳明細書の連入(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)

集計条件の設定
経理処理方式と決算の種類を設定してください。

経理処理方式:
 振込(N) 振込(N)
 本決算(N) 中間決算(上半期決算)(C)

⑦

⑨

< 戻る(B) **次へ(N)** キャンセル

内訳明細書の連入(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)

転送データの作成完了
「内訳明細書の連入」へ転送するデータの作成を完了しました。
[完了]ボタンをクリックしてください。

⑨

< 戻る(B) **完了** キャンセル

インポートデータ確認

⑩

⑩

科目	補助科目	残高
GENIN 現金		92,922,498
KOJUCHI 小口現金		0
TOLZAYO 当座預金		242,030,972
	hokutou 北東銀行 盛地支店	216,829,642
	shouma 昭和信用金庫 本店	18,259,960
	その他	7,019,370
FUTSUUYO 普通預金		66,014,968
	minato 港銀行 城西支店	14,261,948
	akazaka 赤坂銀行 本店	49,054,456
	toei 都電銀行 私豊厚支店	271,890
	shouma 小和銀行 城西支店	387,009
	oosaka 大阪東銀行 新橋...	1,321,664
	rapongi 大木本銀行 新...	208,970
	chubu 中部銀行 名古屋...	508,790
	その他	0
TEIKIYO 定期預金		2,036,000
	hokutou 北東銀行 盛地支店	2,036,000
	その他	0
TSUUCHI 通知預金		0
TEIKITSU 定期預金		0
BETSUWAN 別荘預金		0
YUBIN 郵便貯金		0
UNETORI 受取手形		7,755,951
FUNATARI 不渡手形		0
URIKAKE 売掛金		63,285,724
	sichi 愛知マート	1,918,179
	atsusi 厚木産業	4,107,900
	bunkyou 文京食品店	493,245

Enter 閉じる

⑥処理年度を選択し、「次へ」をクリック

⑦集計条件を設定し、「次へ」をクリック

⑧「作成開始」をクリック

⑨「完了」をクリック

⑩「閉じる」をクリック

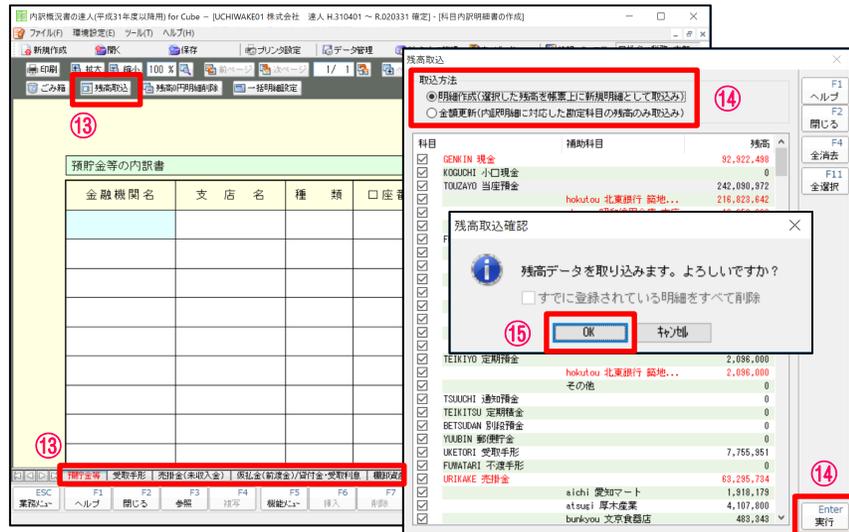
2. 勘定科目内訳明細書の作成

2. 連動コンポーネントによる勘定科目内訳明細書の作成



⑪「科目内訳明細書の作成」を選択

⑫作成する帳票名にチェックを入れ、「確定」をクリック



⑬選択した内訳書が表示されるので、「残高取込」をクリック

※「残高取込」は、それぞれの内訳書ごとにおこないます。

⑭「取込方法」を選択し、「実行」をクリック

⑮「OK」をクリック

2. 勘定科目内訳明細書の作成

2. 連動コンポーネントによる勘定科目内訳明細書の作成

金融機関名	支店名	種類	口座番号	期末現在高	摘要
東京本社					
総務部ほか		現金		1,536,055	
築地銀行	本店	当座預金		2,634,500	
新宿銀行	渋谷支店	当座預金		1,798,136	
NTTデータ銀行	大手町支店	当座預金		869,555	
築地銀行	本店	普通預金		5,322,005	
新宿銀行	渋谷支店	普通預金		2,896,853	
NTTデータ銀行	大手町支店	普通預金		6,885,336	
築地銀行	本店	定期預金		40,000,000	

⑯内訳書にインポートしたデータが取り込まれます。

※「一括明細設定」や行の移動「F8↑上へ」「F9↓下へ」、行の挿入「F6挿入」を利用して、項目の並び替えや集計などをおこないます。

以下の一括明細設定を行います。
よろしいですか？

小計行の設定 (削除のみ)
並び替えの第1ソート項目の単位で小計行を作成します。

集計行の設定 (解除のみ)
金額が多額のものから100件超の明細行を、最終行に「その他」として集計します。
※集計対象外の明細は上記の対象外となります。

並び替え
明細の並び替えを行います。帳票上に設定してある小計行、集計行、空白行はすべて削除されます。

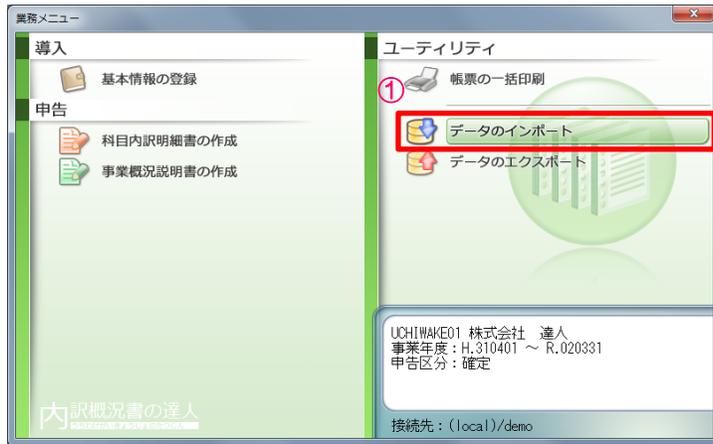
第1ソート項目	第2ソート項目	第3ソート項目
種類(昇順)	金融機関名(昇順)	
種類(昇順)	期末現在高(降順)	
金融機関名(昇順)	種類(昇順)	
金融機関名(昇順)	期末現在高(降順)	
期末現在高(降順)		

小計行のタイトル設定
小計行タイトル: _____

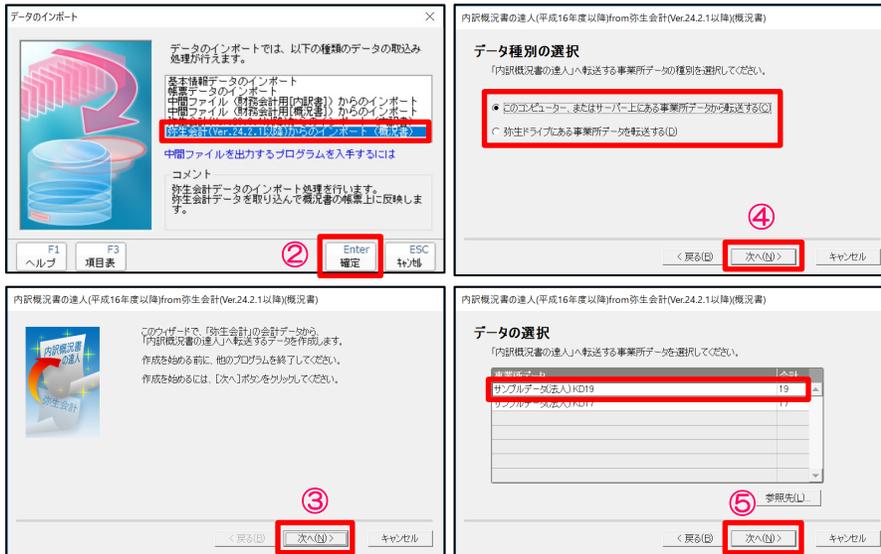
F1 ヘルプ F6 ソート編集 Enter 確定 ESC キャンセル

3. 法人事業概況説明書の作成

3. 連動コンポーネントによる法人事業概況説明書の作成



①内訳概況書の達人を起動後、該当のデータを選択し、「データのインポート」をクリック



②「弥生会計からのインポート（概況書）」を選択し、「確定」をクリック

③「次へ」をクリック

④データ種別を選択し、「次へ」をクリック

⑤データを選択し、「次へ」をクリック

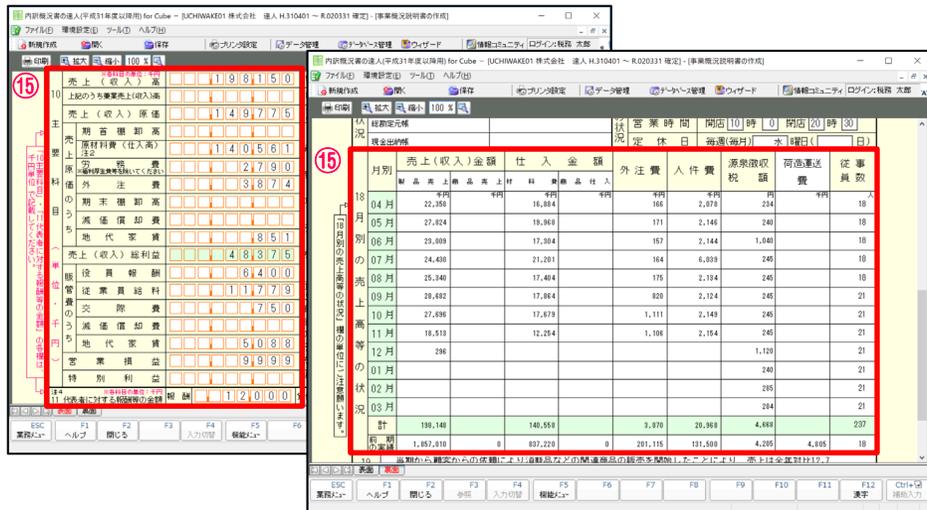
3. 法人事業概況説明書の作成

3. 連動コンポーネントによる法人事業概況説明書の作成



⑬ 「事業概況説明書の作成」を選択

⑭ 帳票名の「法人事業概況説明書」にチェックが入っていることを確認し、「確定」をクリック

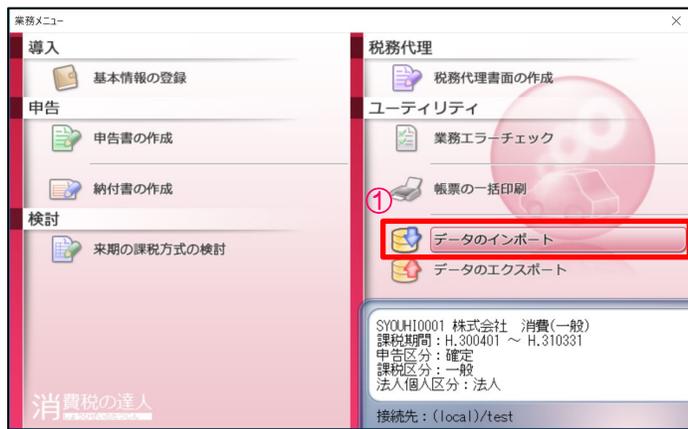


⑮ 表面の「主要科目」「代表者に対する報酬等の金額」、裏面の「月別の売上高等の状況」にデータが反映されます。

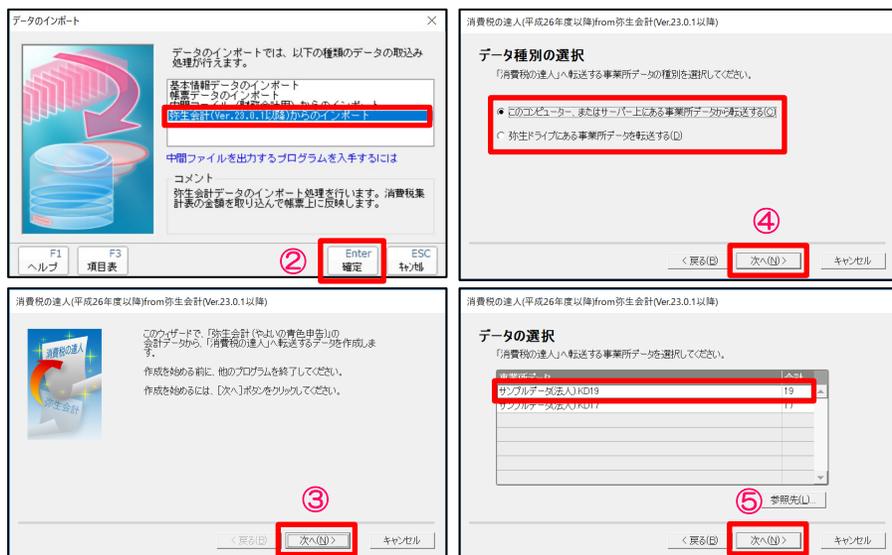
※その他の白抜きの欄は、手入力します。

4. 消費税申告書の作成

4. 連動コンポーネントによる消費税申告書の作成



①消費税の達人を起動後、該当のデータを選択し、「データのインポート」をクリック



②「弥生会計からのインポート」を選択し、「確定」をクリック

③「次へ」をクリック

④データ種別を選択し、「次へ」をクリック

⑤データを選択し、「次へ」をクリック

4. 消費税申告書の作成

4. 連動コンポーネントによる消費税申告書の作成

消費税の連入(平成26年度以降)from発生会計(Ver.23.0.1以降)

処理年度を選択
「消費税の連入」へ転送する処理年度を選択してください。

処理年度	会計期間
第34期	H28/04/01~H29/03/31
第35期	H29/04/01~H30/03/31
第36期	H30/04/01~H31/03/31

⑥

消費税の連入(平成26年度以降)from発生会計(Ver.23.0.1以降)

転送データの作成
作成するデータの名称を入力してください。

場所: C:\V_Sy30\2559a1c-21d7-11d9-bdaF-00c04860b...

名称: Sy26T EMP2

⑧

消費税の連入(平成26年度以降)from発生会計(Ver.23.0.1以降)

集計期間の設定
集計期間を設定してください。

期間: 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 24

⑦

消費税の連入(平成26年度以降)from発生会計(Ver.23.0.1以降)

転送データの作成完了
「消費税の連入」へ転送するデータの作成を完了しました。
[完了]ボタンをクリックしてください。

⑨

条件設定(インポート)

インポート先の指定

申告書 (基礎データ)

課税方式の検討資料 (課税先上高及び消費税額等の予測表の当期値)

年計算してデータを取り込む

(インポート対象の課税期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

⑩

消費税の連入(平成30年度以降)

⑪

Enter 確定

ESC キャンセル

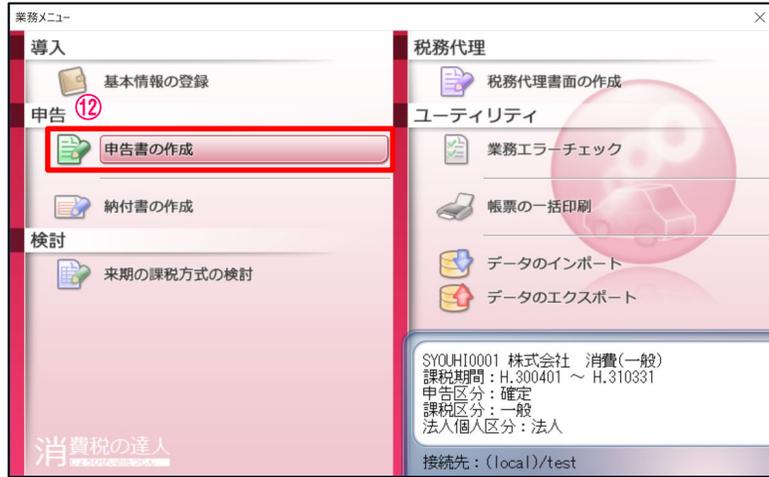
OK

- ⑥ 処理年度を選択し、「次へ」をクリック
- ⑦ 集計期間を選択し、「次へ」をクリック
- ⑧ 「作成開始」をクリック
- ⑨ 「完了」をクリック

- ⑩ インポート先の指定が「申告書 (基礎データ)」に指定されていることを確認し、「確定」をクリック
- ⑪ 「OK」をクリック

4. 消費税申告書の作成

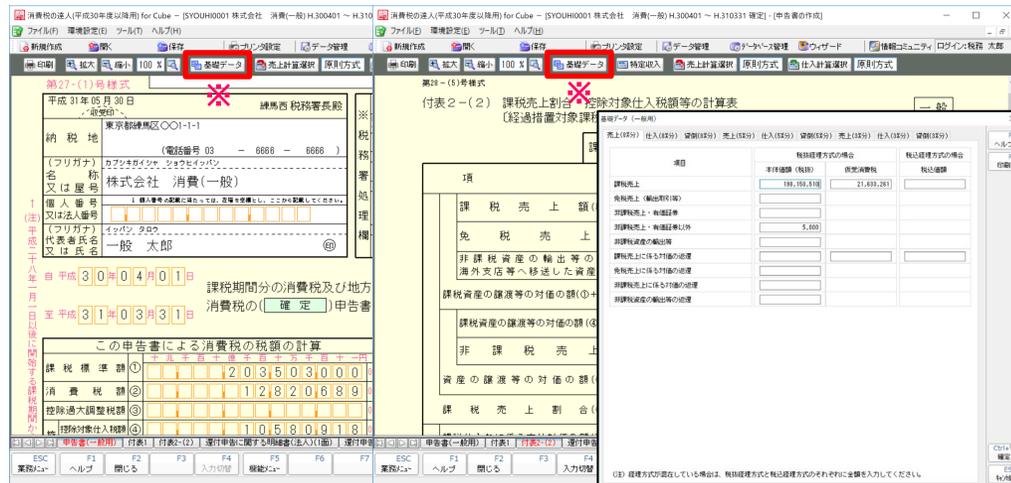
4. 連動コンポーネントによる消費税申告書の作成



⑫「申告書の作成」を選択

インポートしたデータが申告書に反映されます。

※インポートされたデータは、「基礎データ」で確認ができます。



3. その他

■達人Cubeオプション クラウドサービスのご紹介

(1) 達人Cube「クラウドAP仮想化サーバー」 **NEW**

- ✓ 達人シリーズをクラウド化
- ✓ 達人シリーズのアップデートや端末の入れ替えにかかる手間を大幅に軽減
- ✓ ローカルPCにインストールした場合と変わらない操作感

(2) 達人Cube「クラウドデスクトップ」

- ✓ デスクトップ環境をまるごとクラウド化
- ✓ 主要連動会計ソフト動作検証済み、お手持ちのインストーラ等からインストール可能
- ✓ クラウド上で会計・税務データを管理・運用できるため安心

(3) 達人Cube「クラウドストレージ」

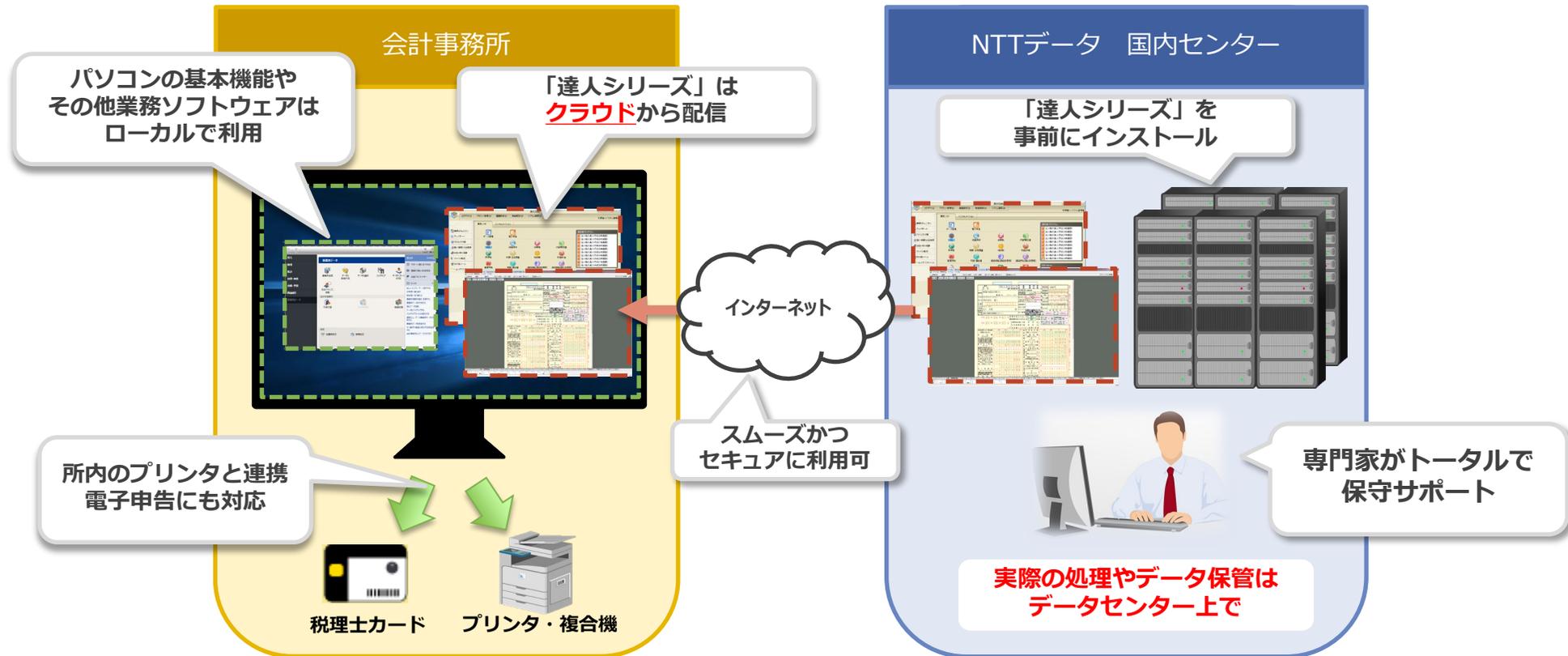
- ✓ インターネット経由で業務データをお手軽に保管
- ✓ 高度なセキュリティ機能により、大切な情報資産をセキュアに保全
- ✓ 万が一の災害時も、保管されたデータから即座に復旧できるため安心

3. その他

(1) 達人Cube「クラウドAP仮想化サーバー」 **(新商品)**

達人Cube「クラウドAP仮想化サーバー」とは、NTTデータのデータセンターで運用される仮想サーバーにインストールされた達人シリーズを、インターネットを介して事務所内のクライアント端末で利用できるサービスです。

達人シリーズのアップデートや端末の入れ替えにかかる手間を大幅に軽減するだけでなく、業務データをセキュアに保全できます。



(1) 達人Cube「クラウドAP仮想化サーバー」 **(新商品)**

【導入メリット】

①達人シリーズをまるごとクラウド化でき、管理の手間から開放されます。

- ✓ 達人シリーズのアップデート作業は、クラウド上のサーバー1台だけでOK
- ✓ 事務所内のコンピュータにアプリやデータが残らないため、パソコンの入れ替えもラクラク
- ✓ ご契約中の達人シリーズを事前にインストール

②万全のセキュリティでお客様の情報資産をお守りします。

- ✓ NTTデータの国内最大級のデータセンターで、専門エンジニアが24時間365日システム監視
- ✓ VMとローカルコンピュータの間の通信経路は暗号化
- ✓ ID&PW認証とクライアント証明書でアクセス制御

③クラウド環境での業務を、お手軽にはじめられます。

- ✓ 達人Cubeだから最短三ヶ月からご利用可能
- ✓ 事務所規模に合わせた4プランをご用意
- ✓ Webブラウザからサクサク起動、セットアップも簡単

3. その他

(1) 達人Cube「クラウドAP仮想化サーバー」 **(新商品)**

①VM本体

【価格は全て月額、消費税別】

グレード	CPU数	メモリ	システム領域 (Cドライブ) 容量	標準販売価格	推奨利用人数
プラン1	4vCPU	8GB	100GB	16,000円	10名
プラン2	8vCPU	16GB	200GB	20,000円	25名
プラン3	12vCPU	24GB	300GB	24,000円	40名
プラン4	16vCPU	32GB	400GB	30,000円	60名

※OSとインストール済みアプリが30GB程度を専有します。

②クライアントアクセスライセンス

ライセンス数	標準販売価格
5CAL	13,500円
8CAL	21,600円
10CAL	27,000円

※**利用する人数分**のライセンス契約が必須です。

※10ライセンス以上は、5ライセンス追加ごとに13,500円/月が加算されます。

③共有ファイル領域 (Sドライブ)

契約単位	標準販売価格
50GB	3,600円

※最低契約容量は50GB、上限は2TBです。

※容量を削減する場合、8,500円の作業手数料が必要です。

④業務ソフト(オプション)

名称	標準販売価格
MS Office Standard2019	1,200円

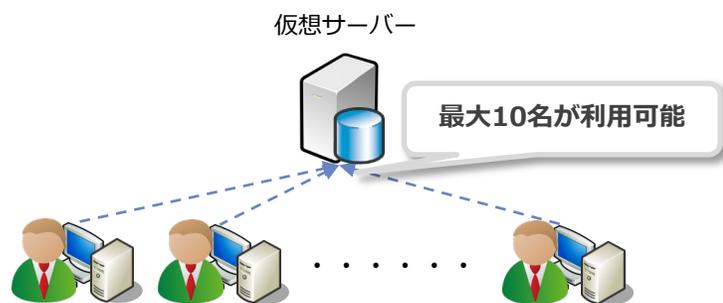
※クライアントアクセスライセンスと同数の契約が必須です。

3. その他

(1) 達人Cube「クラウドAP仮想化サーバー」 **(新商品)**

■ 利用人数：10名

10名規模向けの仮想サーバー1台で運用



<構成>

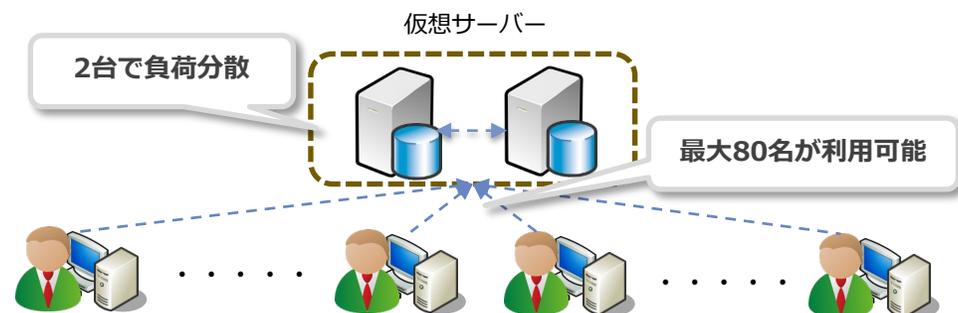
メニュー名	数量	金額
サーバ本体(プラン1)	1	16,000円
クライアントアクセスライセンス	10	27,000円
共有ファイル領域(Sドライブ)	50GB	3,600円

合計コスト(月額) **46,600円**

合計コスト(年額) **559,200円**

■ 利用人数：80名

40名規模向けの仮想サーバー2台で運用



<構成>

メニュー名	数量	金額
サーバ本体(プラン3)	2	48,000円
クライアントアクセスライセンス	80	216,000円
共有ファイル領域(Sドライブ)	200GB	14,400円

合計コスト(月額) **278,400円**

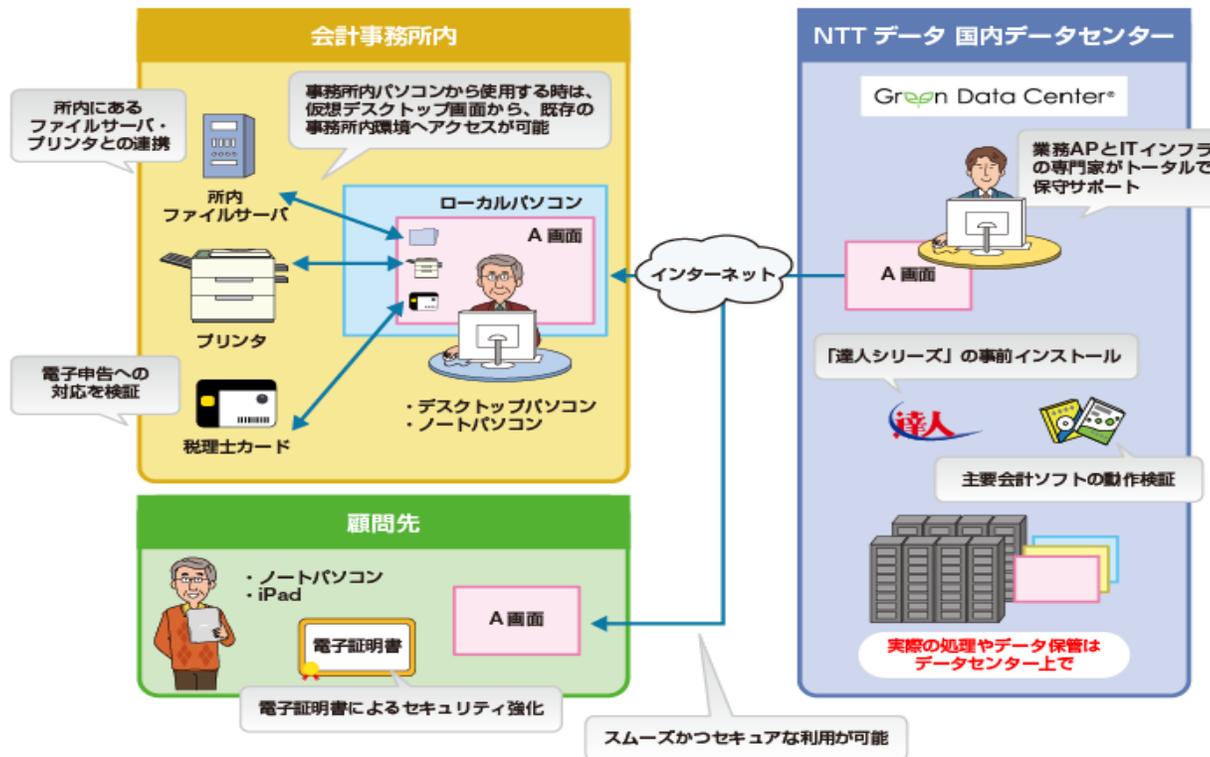
合計コスト(年額) **3,340,800円**

3. その他

(2) 達人Cube「クラウドデスクトップ」

達人Cube「クラウドデスクトップ」は、税理士事務所の業務をセキュアかつ便利に推進するために開発されたデスクトップサービスです。NTTデータのデータセンターで運用される仮想コンピュータ（VM：Virtual Machine）に対し、事務所内はもちろん、外出先からもアクセス可能で、いつものデスクトップ環境で業務を行う事が出来ます。

達人シリーズだけでなく主要会計ソフトや電子証明書についても動作確認済みのため、**税理士事務所の業務環境をまるごとクラウド化**できます。



(2) 達人Cube「クラウドデスクトップ」

【導入メリット】

①業務をまるごとクラウド化でき、システム管理の手間から開放されます。

- ✓ 達人シリーズや第四世代電子証明書を事前にインストール
- ✓ 主要連動会計ソフト動作検証済み、お手持ちのインストーラ等からインストール可能
- ✓ 全ての処理はクラウド側で実行されるため、事務所内PCは低スペックでOK

②万全のセキュリティでお客様の情報資産をお守りします。

- ✓ NTTデータの国内最大級のデータセンターで、専門エンジニアが24時間365日システム監視
- ✓ VMとローカルコンピュータの間の通信経路は暗号化
- ✓ ID&PW認証とクライアント証明書でアクセス制御

③総クラウド環境での業務を、お手軽にはじめられます。

- ✓ 達人Cubeだから最短三ヶ月からご利用可能
- ✓ 用途に合わせた3グレード（SSD採用により、ライトでもサクサク作業）
- ✓ ローカルPCからのデータ移行も、エクスプローラーでラクラク

3. その他

(2) 達人Cube「クラウドデスクトップ」

①VM本体

【価格は全て月額、消費税別】

グレード	CPU数	メモリ	システム領域 (Cドライブ) 容量	標準販売価格
ライト	2vCPU	2GB	50GB	10,000円
スタンダード	4vCPU	4GB	100GB	12,500円
プロフェッショナル	6vCPU	6GB	150GB	15,000円

※OSとインストール済みアプリが30GB程度を専有します。

②VM単位オプション

名称	契約単位	標準販売価格
個人ファイル領域(Hドライブ)	20GB ※上限2TB	1,400円
MS Office Standard2013	—	1,200円

③事務所単位オプション

名称	契約単位	標準販売価格
共有ファイル領域(Sドライブ)	50GB ※上限2TB	3,600円
共有ファイル領域 アクセスライセンス	VM数 ※共有ファイル領域をご契約頂く場合、全VM台数分必要	300円

※Hドライブ、Sドライブの容量を削減する場合、8,500円の作業手数料が必要です。

3. その他

(3) 達人Cube「クラウドストレージ」

達人Cube「クラウドストレージ」は、ログインIDやパスワードによる認証に加えて、インターネット回線による認証や端末認証など、より高度なセキュリティを実現したストレージサービスです。

【特徴】

- ・ NTTグループが運営する国内最大級のデータセンター（お客様の保管領域）に、インターネット経由でお手軽に保管
- ・ 万が一の大規模な災害が起きた場合でも大切な情報資産をデータセンターに保管したデータを使って復旧。スムーズに業務を再開。
- ・ 達人シリーズのデータだけでなく、ExcelやWordなどの業務データにも対応

【利用料】

- ・ 10GB：500円/月～（消費税別）※最大5TBまで

◆「クラウドストレージ」はここが違います！

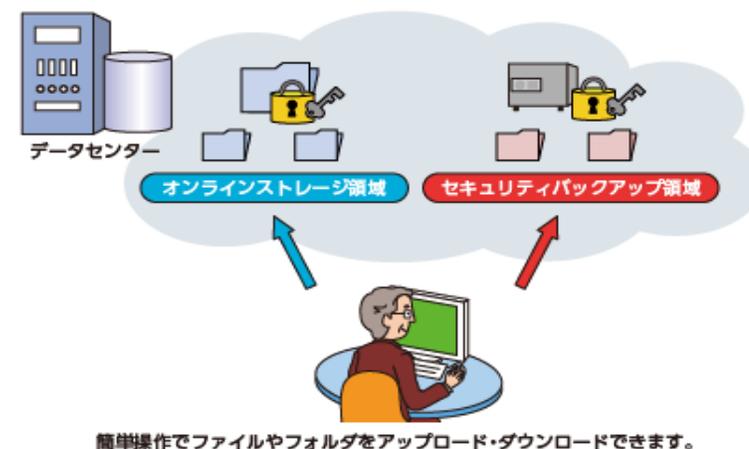
POINT 1：信頼のデータセンターによる安心バックアップ
データセンターへのアップロード・ダウンロードを行う際は、TSL通信により暗号化されています。
アップロード時には、ウイルスチェックを行うので、常にセキュアな環境でご利用いただけます。

POINT 2：容量プランの充実ラインナップ
お手頃な10GBから大容量の5TBまで、充実のラインナップを安価でご提供します。

POINT 3：簡単操作で安心アップロード・ダウンロード

POINT 4：端末認証と回線認証による高セキュリティを実現

【システムイメージ図】



簡単操作でファイルやフォルダをアップロード・ダウンロードできます。



NTT DATA

Trusted Global Innovator